

守山市長期ビジョン2035 【審議会資料】

1. 長期ビジョン2035策定方針

① 策定の趣旨

■総合的・計画的な行政運営の必要性

- 社会情勢の変化が速く厳しくなるなか、本市では人口増加傾向の鈍化や新たな産業機能の立地等の新たな動きもみられる。
これらに対応して持続可能なまちづくり進めていくために、総合的・計画的な行政運営の必要性は一層高まっている。
- これまで本市では、中長期にわたるまちづくりの指針として「総合計画」を策定し、総合的・計画的な行政運営を行ってきた。
現在の総合計画は、全分野の施策を対象にその方向性を示し、基本構想、基本計画、実施計画の三層構造で構成したもの。

※昭和44年旧地方自治法において市町村の基本構想策定が義務付けられた（要議会議決）が、地方自治法改正（H23）により策定義務がなくなった

名称	計画期間	将来都市像
守山市総合発展計画	S47～S60年度	青い空・美しい水と緑のもとで『のどかな田園都市』を維持・形成するために
守山市新総合発展計画	S53～S60年度	のどかで明るくたくましい田園都市をめざして
第3次守山市総合発展計画	S61～H12年度	こころかよう 光かがやくまち守山
第4次守山市総合計画	H13～H22年度	ひと・まち・自然が元気な健康都市 守山
第5次守山市総合計画	H23～R7年度	「わ」で輝かせよう ふるさと守山

1. 長期ビジョン2035策定方針

■総合計画の課題と見直しの方向

- 長期にわたり運用してきた総合計画には課題があり、見直しを図っていく必要がある。

総合計画の課題

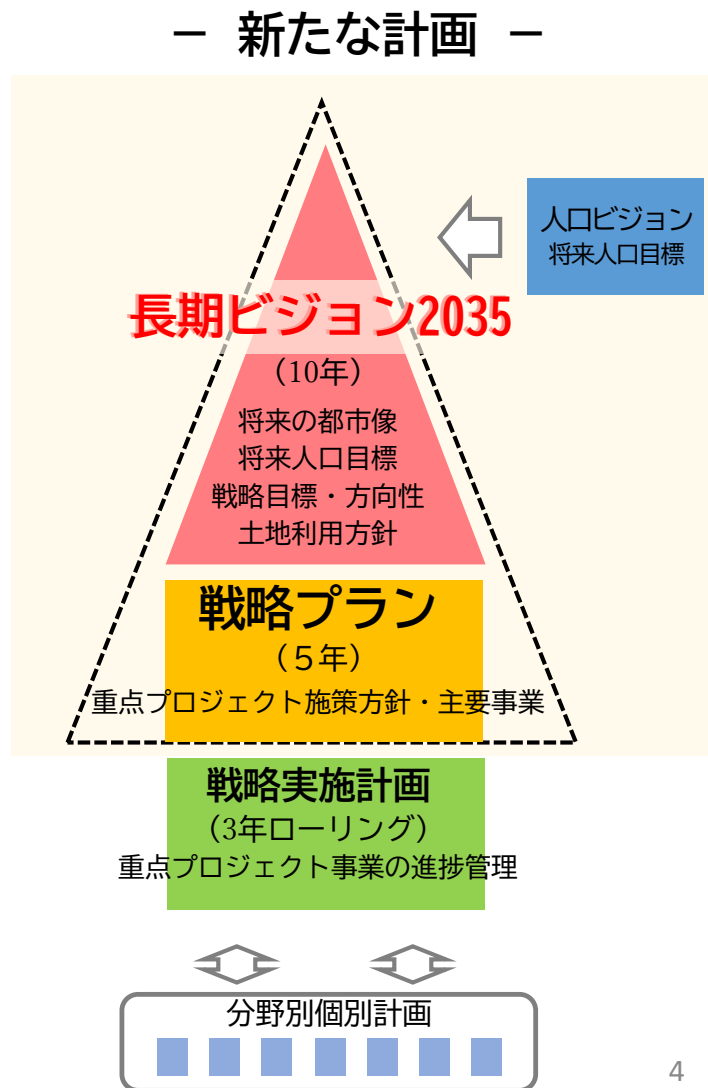
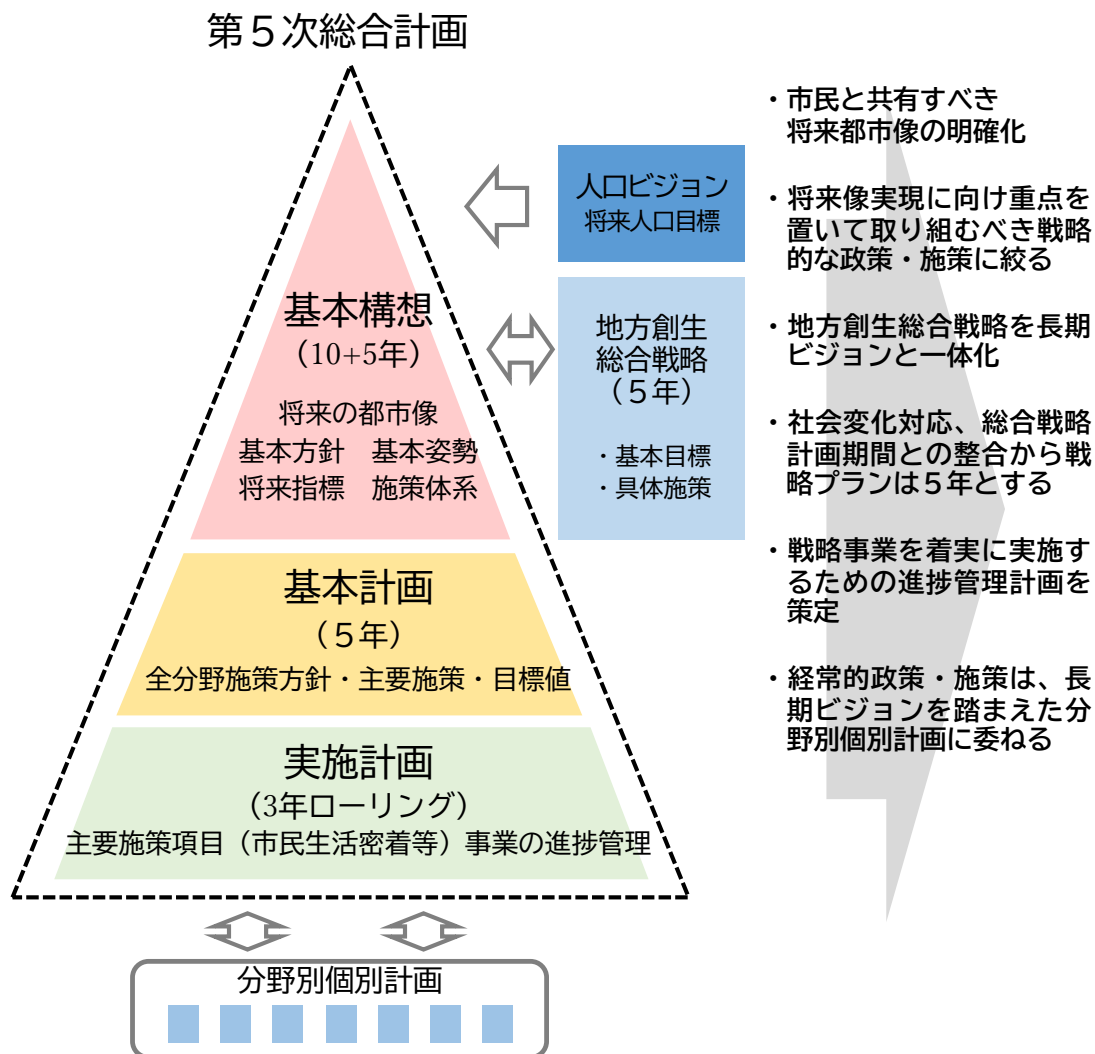
- 施策が総花的で重要度や緊急性がわかりにくい
- 類似の地方創生総合戦略が併存し役割分担がわかりづらい
- 計画体系が複雑、大部で、市民、市職員との共有や利活用が不十分
- 計画策定・運用に多くの時間・労力がかかる
- 総合計画とは別に部門毎の計画があり、事業は計画的に進められている
- 各種行政計画が増え、計画間の調整や事務負担が大きい
- 長期的・網羅的計画であり、財政上の担保が十分にできない

見直しの方向

総花的な総合計画から、**地域の持続可能な発展のために**
優先して戦略的に進めるべき取組に重点をおいた、
簡素でわかりやすく市民と共有しやすい長期的指針へと見直す

1. 長期ビジョン2035策定方針

②新たな計画の策定方針



1. 長期ビジョン2035策定方針

③計画構成イメージ

守山市長期ビジョン2035

1. 長期ビジョンとは

- 総合計画から
長期ビジョンへ
- 位置づけ
- 期間と構成
- 策定の経緯

2. 守山の強みと課題

- 守山市の強み
- 市内外の環境の変化
- 2035年に向けて、活かすべきもの、備えるべきこと

3. 将来の都市像

■将来都市像と基本目標

[将来都市像]
○○○○○○○
[まちづくりの基本理念]

※2035年に目指すまちの姿を例えば下記の視点より具体的に描く

ひと まち 環境 . . .

■目指す姿

<人口>

2035年の将来人口 ○○○○○人

<土地利用方針>

- ・守山駅周辺
- ・市民交流ゾーン
- ・湖岸エリア

4. 戦略プラン

- 分野毎の重点的課題
- 戦略目標
(=総合戦略を包含)
- ・目標
- ・基本方針
- ・成果指標

施策1

- ・施策方針
- ・具体的事業
- ・KPI
- ・所管課 等

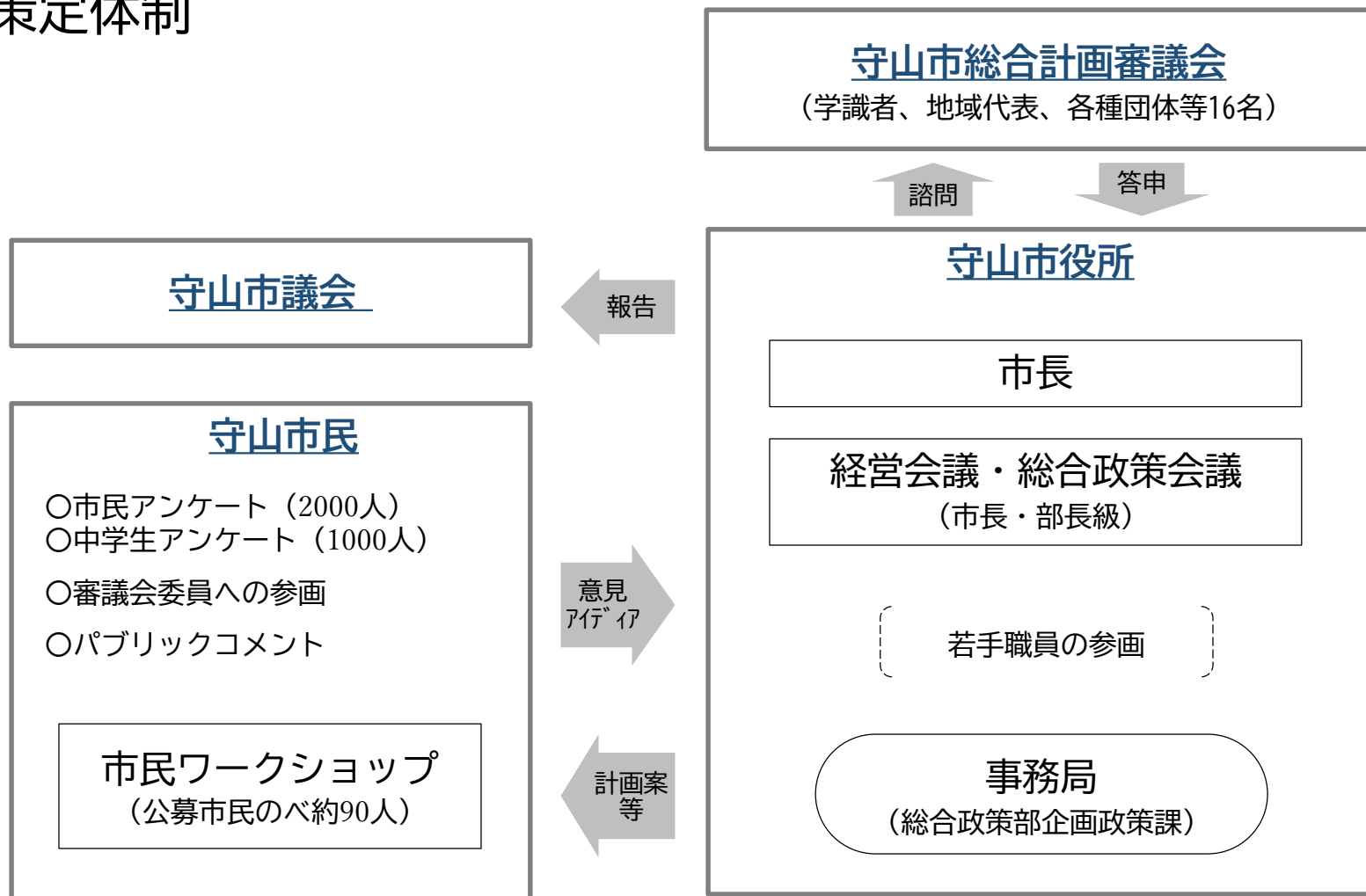
施策2

⋮

注) 具体的記述内容は例示イメージ

1. 長期ビジョン2035策定方針

④策定体制



1. 長期ビジョン2035策定方針

⑤スケジュール

[illegible]

2. 現況動向

① 社会情勢の変化

■人口減少、少子高齢化の深刻化

労働力不足、経済成長率の低下、市場規模の縮小、社会保障費の増大、税収の減少

■生き方の多様化

価値観の変化、働き方の多様化、ライフスタイルの変化、健康志向の高まり
多様性の尊重

■地球環境問題の深刻化

自然災害の激甚化、食料供給への影響、環境意識の高まり、SDGsへの関心の高まり

■デジタル化とテクノロジーの進展

行政、産業・生活分野のDXの進展、サイバー脅威、情報格差の発生

■安全・安心な社会への対応

大規模災害の脅威、社会格差の拡大、ヤングケアラー問題

■公共のあり方の変化

公共施設の維持管理費の増加、自治体間競争の激化、シェアリングエコノミー

2. 現況動向

②守山市の現況

- 京都駅へ25分、大阪駅へ55分の利便性の高さから京阪神のベッドタウンとしての性格を有し、昼間人口比率は89.99と県内自治体の中で最も低い。JR守山駅東口や笠原工業団地等への大規模な企業立地や市民交流ゾーン（市民ホール周辺）における商業施設の開業が予定されており、流入人口の増加が期待される。
- 琵琶湖や野洲川、ホテルの住む自然環境に恵まれ、中山道守山宿等の歴史文化遺産、大型ショッピング施設や美術館などが市内に点在。ビワイチの発着地として自転車による観光・地域振興が盛ん。
- 自治会加入率が高く、地域活動が盛ん。
- 市内を南北に走り大津市とを結ぶ琵琶湖大橋取付道路や東西を走る主要地方道が近隣圏域とのアクセスを担っているが、主要道路や駅周辺で慢性的な渋滞が発生。
- 財政状況は、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）や施設の維持管理費が増加しており、財政の硬直化が懸念される。

表 県内市町の昼間人口比率比較

順位	市町名	昼夜間人口比率
1	竜王町	146.09
2	多賀町	115.19
3	草津市	106.90
4	野洲市	103.01
5	日野町	102.91
6	甲賀市	100.74
7	彦根市	100.21
8	愛荘町	98.79
9	栗東市	98.16
10	豊郷町	97.66
11	長浜市	97.58
12	湖南市	97.51
13	甲良町	97.27
14	高島市	94.98
15	東近江市	94.83
16	米原市	93.47
17	近江八幡市	91.03
18	大津市	90.81
19	守山市	89.99

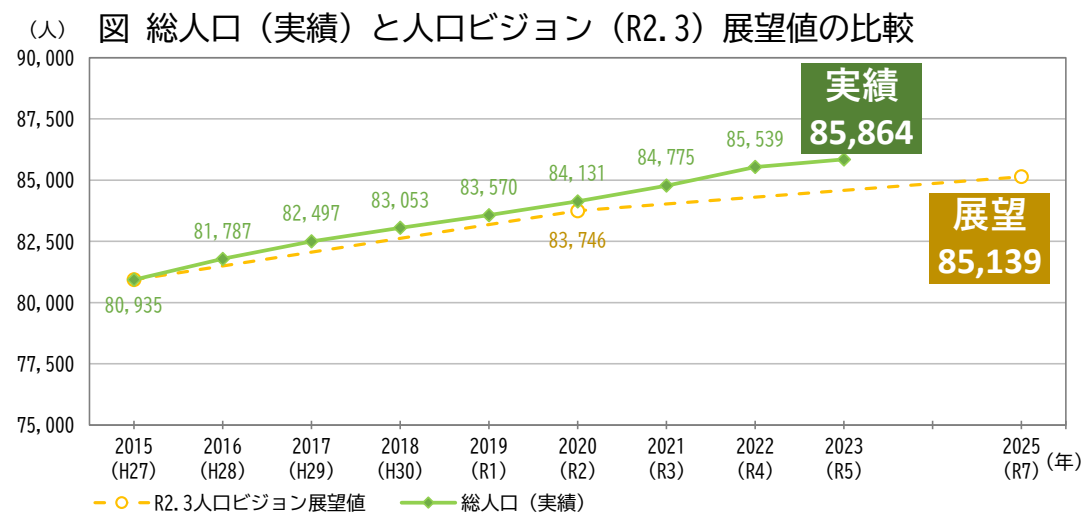
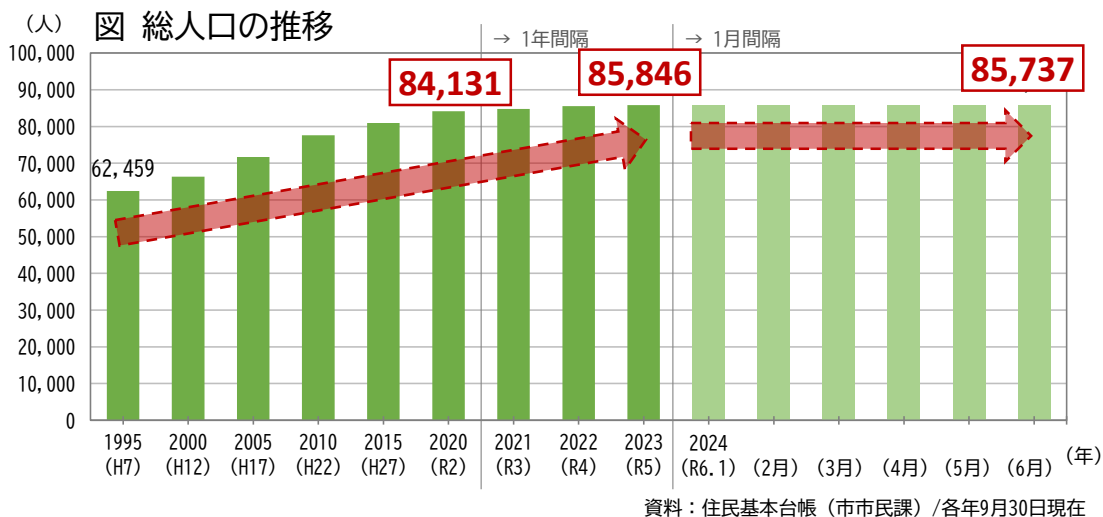
資料：令和2年国勢調査

3. 人口の現状分析

①人口動向分析結果

■守山市の人口動向

- 守山市の人口は、**増加傾向が継続**。2023年9月末時点の住民基本台帳人口は85,846人。
- ただし、2024年の毎月人口をみると、増加から横ばいに推移**しており、2024年6月時点の住民基本台帳は85,737人。
- 2023年人口（実績値）は85,864人。R2.3策定の人口ビジョンにおける2025年の**展望値（85,139人）**を既に上回っている。



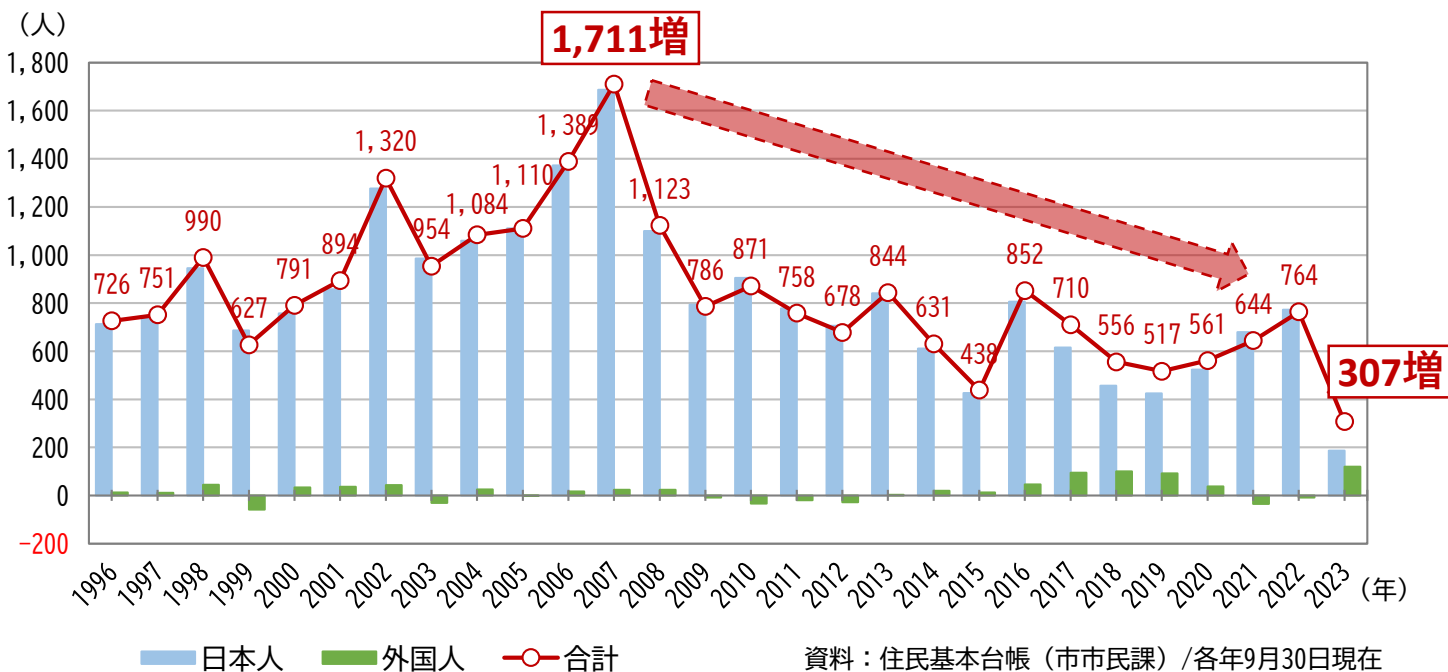
3. 人口の現状分析

■前年人口との比較（1996～2023年）

- 2007年には対前年比で1,711人増加していたが、以降は徐々に増加幅は小さくなり、2009年以降は対前年比で600～800人/年の増加。

2023年は2022年比で307人増にとどまる。

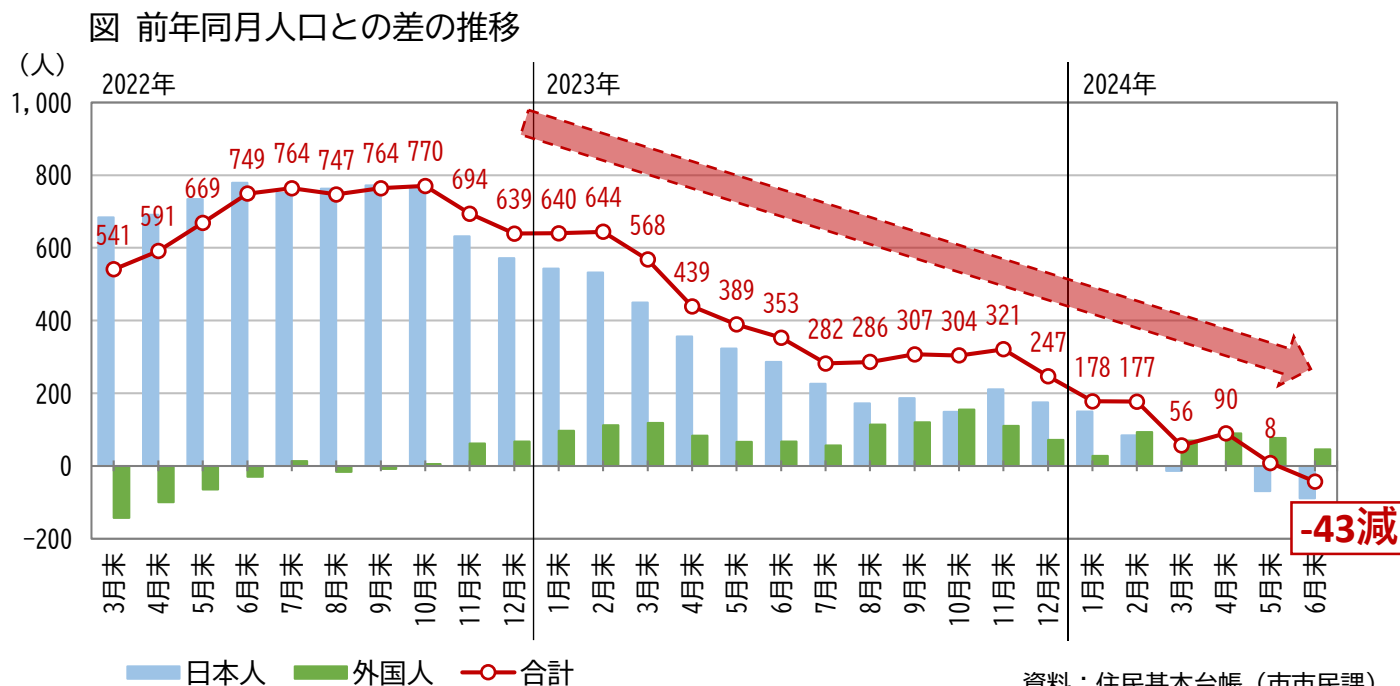
図 前年人口との差の推移



3. 人口の現状分析

■直近の人口と前年人口との比較（2022年3月～2024年6月）

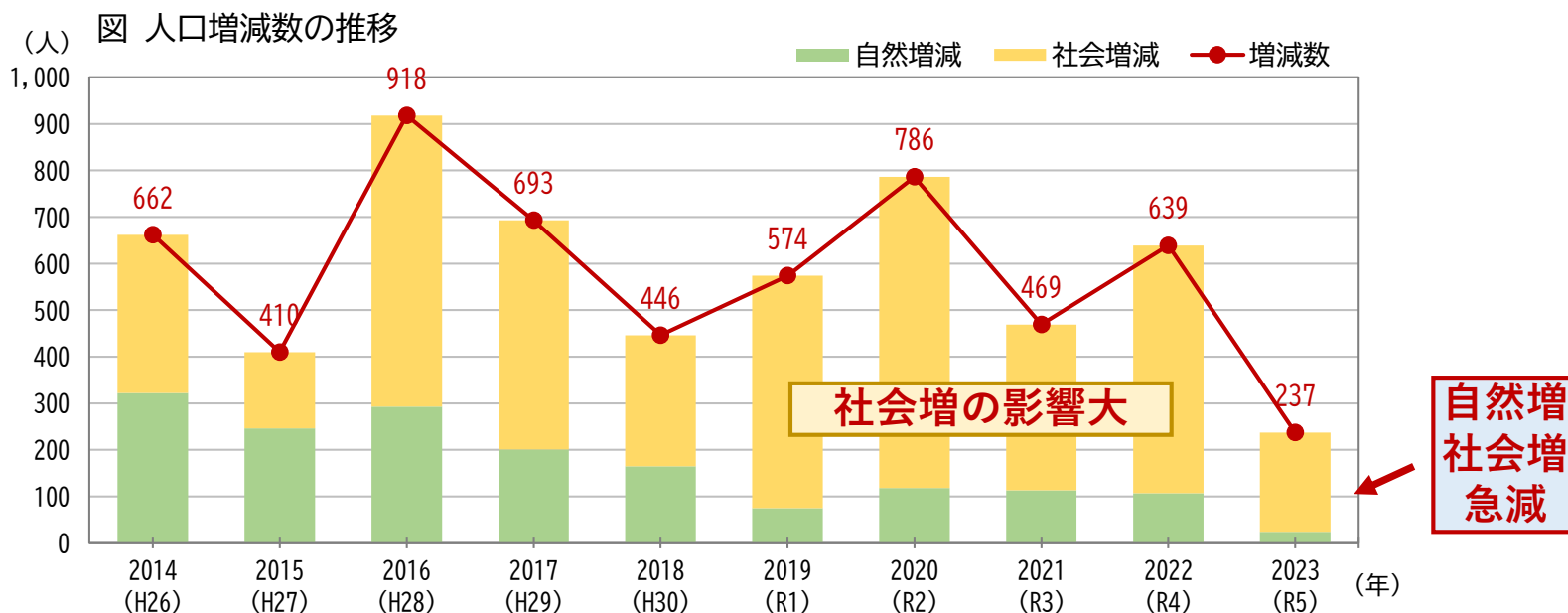
- 2022年3月末以降の毎月人口を前年との差でみると、
2022年10月末頃までは前年比+700人強であったが、以降、増加数は徐々に少なくなり、
2024年6月末時点では前年比マイナスに。



3. 人口の現状分析

■人口増加の要因

- 本市における人口増加は、2014年では自然増と社会増が同程度の割合となっていたが、2019～2022年は社会増による影響が大きく、増加数の75～87%を占めていた。
しかし、2023年は自然増、社会増とも急減。



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）

3. 人口の現状分析

■自然増減の要因

ア) 自然増加数の推移

- 自然増加数は、2014年には300人程度の増加であったが、以降は減少し、2019年からは横ばいとなっているものの2023年は24人の増加にとどまる。

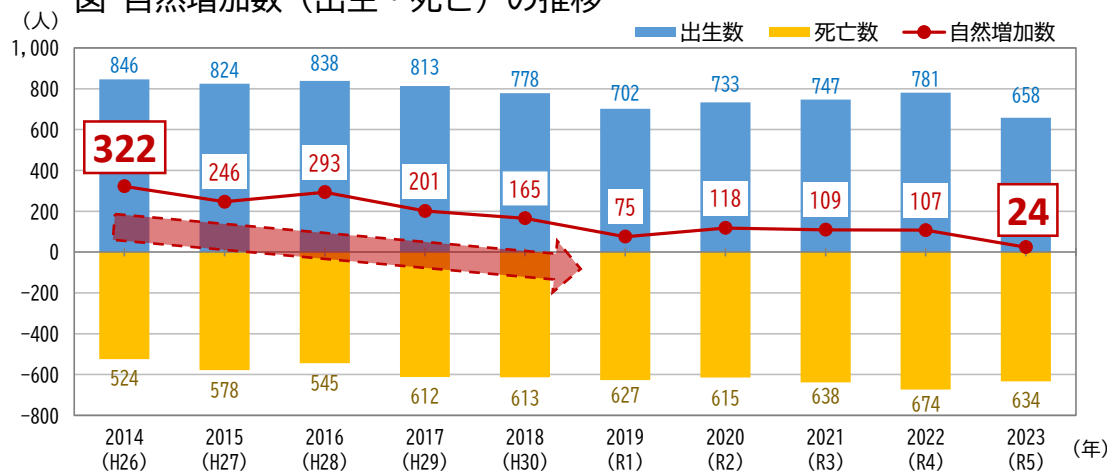
➢ 特に2023年は出生数が減少

781人→ 658人 (▲123人)

イ) 合計特殊出生率の推移

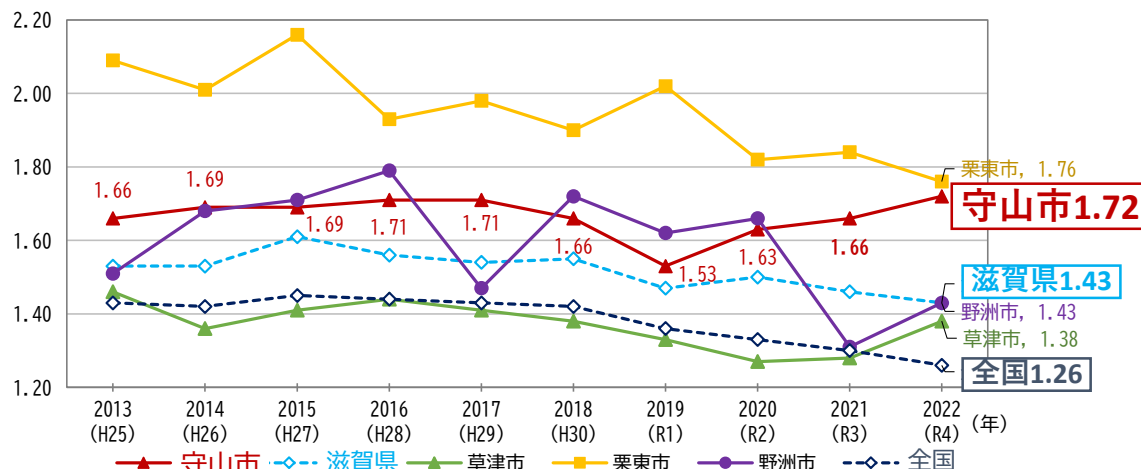
- 本市の合計特殊出生率は2022年で1.72と、滋賀県、全国を大きく上回っている。

図 自然増加数（出生・死亡）の推移



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）

図 合計特殊出生率の推移



資料：各年事業年報（南部健康福祉事務所）、全国と滋賀県の値は各年人口動態統計（厚生労働省）

3. 人口の現状分析

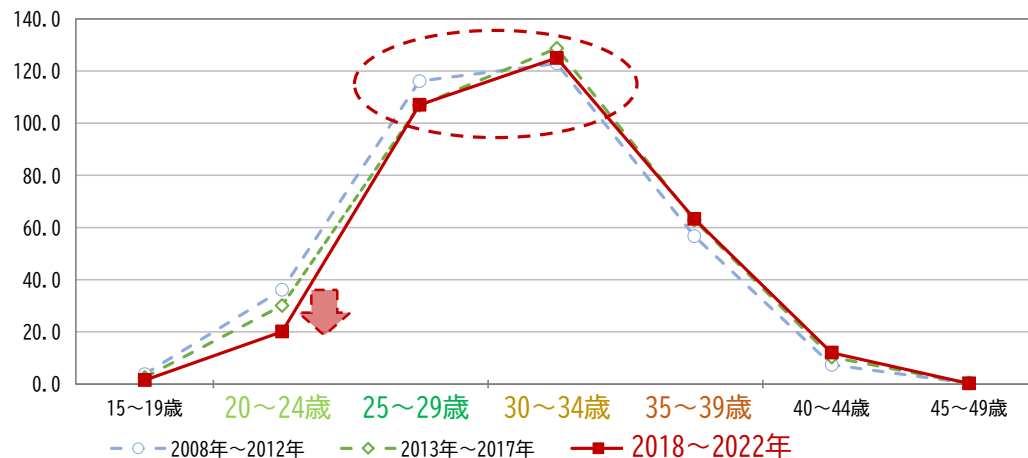
□自然増減（出生数）の推移

ウ) 年齢別出生率と人口の推移

- 母親の年齢別出生率は、25～34歳が高い。
20～24歳の出生率は低下している。

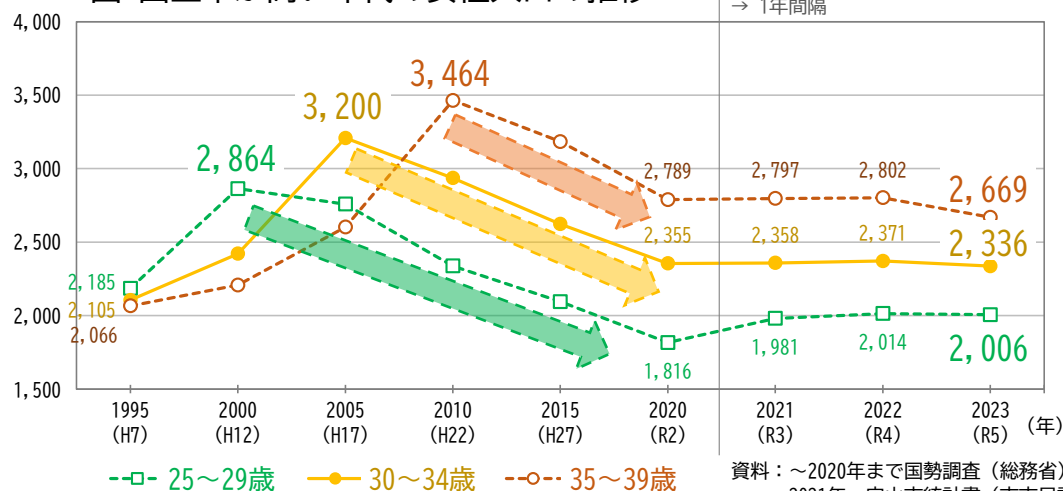
- 母親の年齢別出生数の多い25～39歳の女性人口が近年減少の傾向。
これが出生数が減少～横ばいとなっている一因と考えられる。

(女性人口千対) 図 母親の年齢階級別出生率の推移



資料：人口動態保健所・市区町村別統計（厚生労働省）

(人) 図 出生率が高い年代の女性人口の推移



資料：～2020年まで国勢調査（総務省）
2021年～守山市統計書（市市民課）

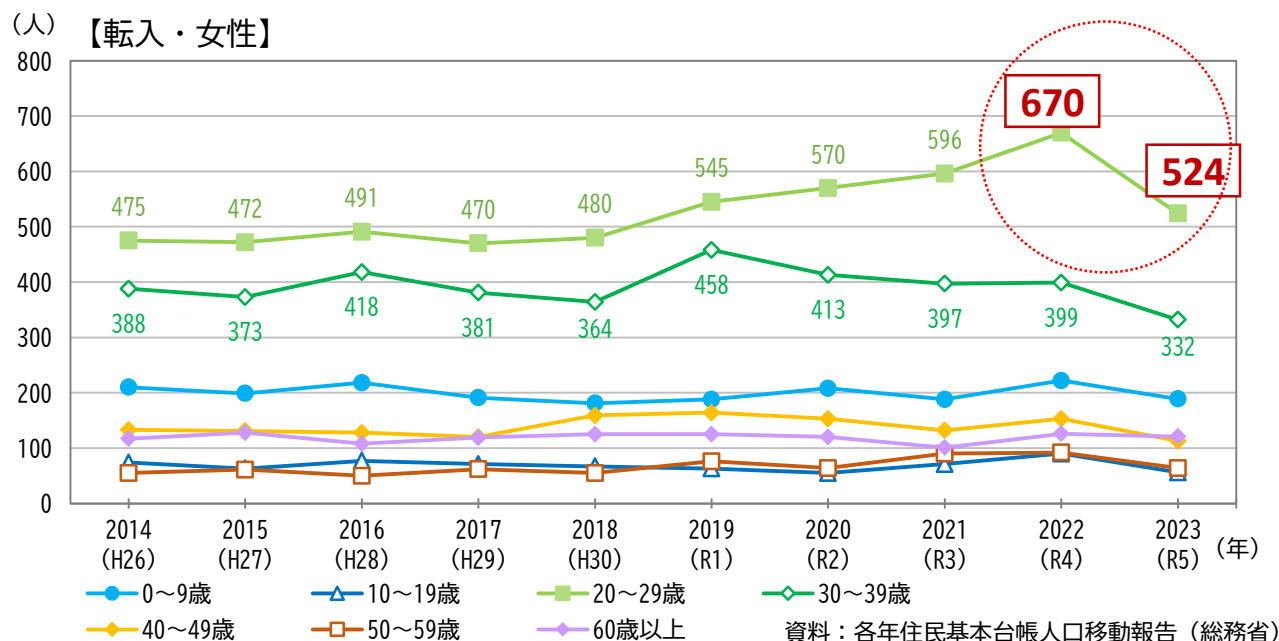
3. 人口の現状分析

- 2023年は、特に親の年齢別出生数の多い

20～29歳、の女性の転入が減少。

このことも2023年の出生数減少の一因と考えられる。

図 性別【転入者数】の推移



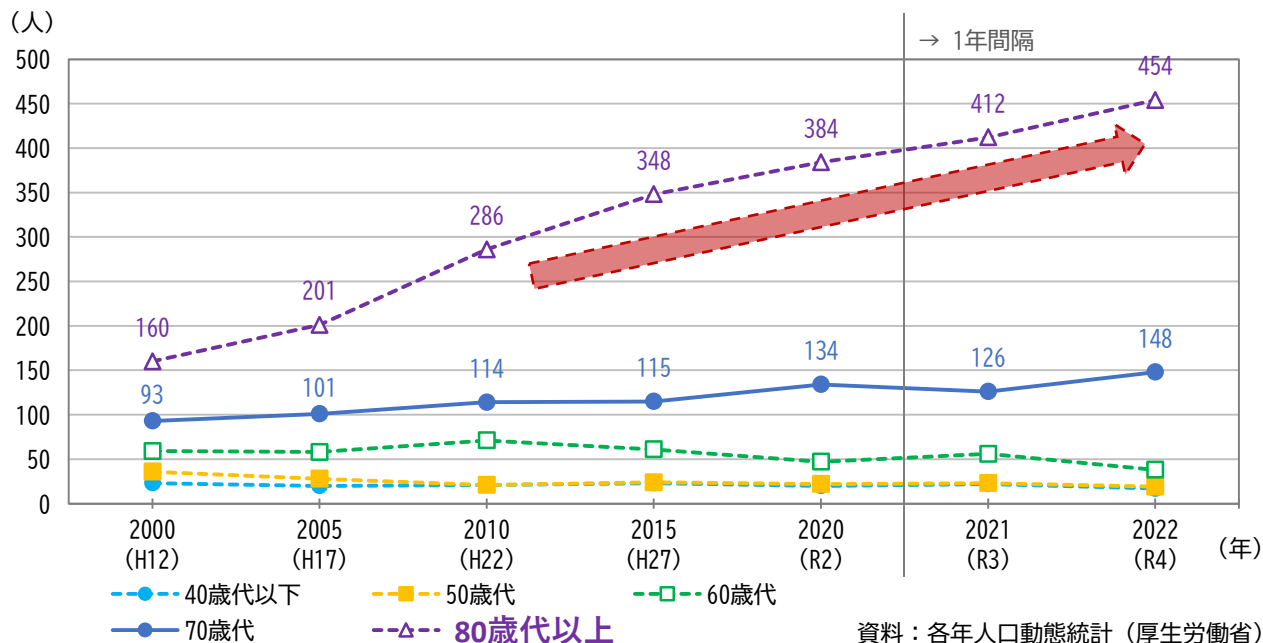
3. 人口の現状分析

■自然増減の要因

エ) 死亡数の推移

- 死亡者数は増加傾向にあり、特に、高齢化に伴い80歳以上の死亡者数は増加の一途をたどっている。

図 年代別死亡者数の推移



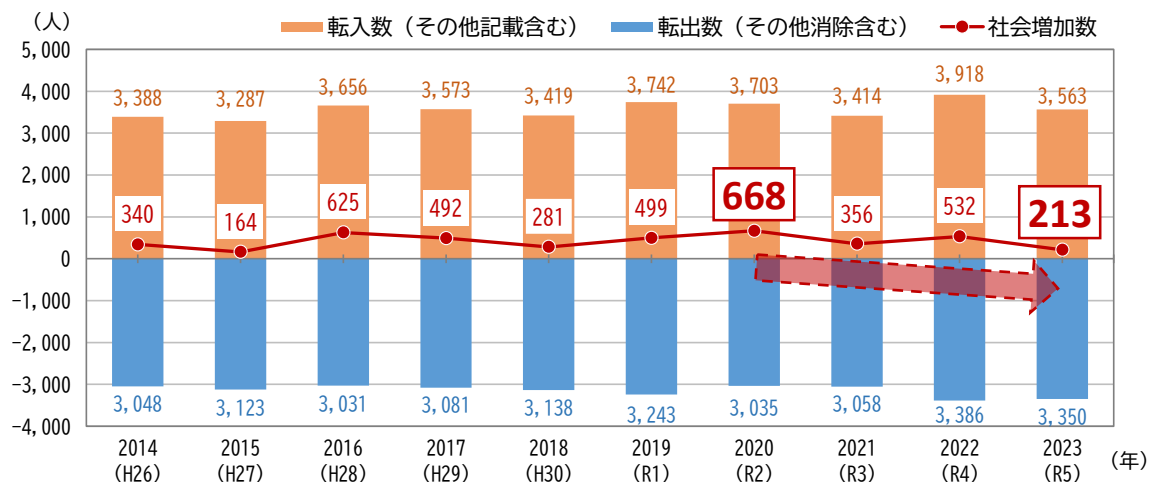
3. 人口の現状分析

■社会増減の要因

ア) 社会増加数の推移

- 社会増加数は、2019年以降、350～700人程度の増加があったが、2023年には213人増に急減。

図 社会増加数（転入・転出）の推移

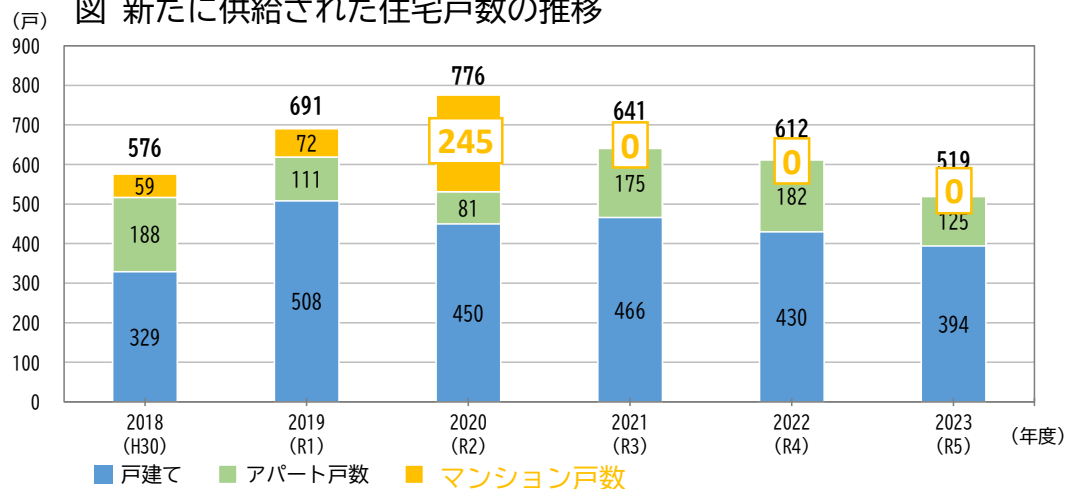


資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省）

イ) 住宅供給状況の推移

- 社会増急減の要因としては、近年、分譲マンション等の住宅ストック供給が、相対的に停滞していること等が想定できる。

図 新たに供給された住宅戸数の推移



資料：市調べ

3. 人口の現状分析

■社会増減の要因

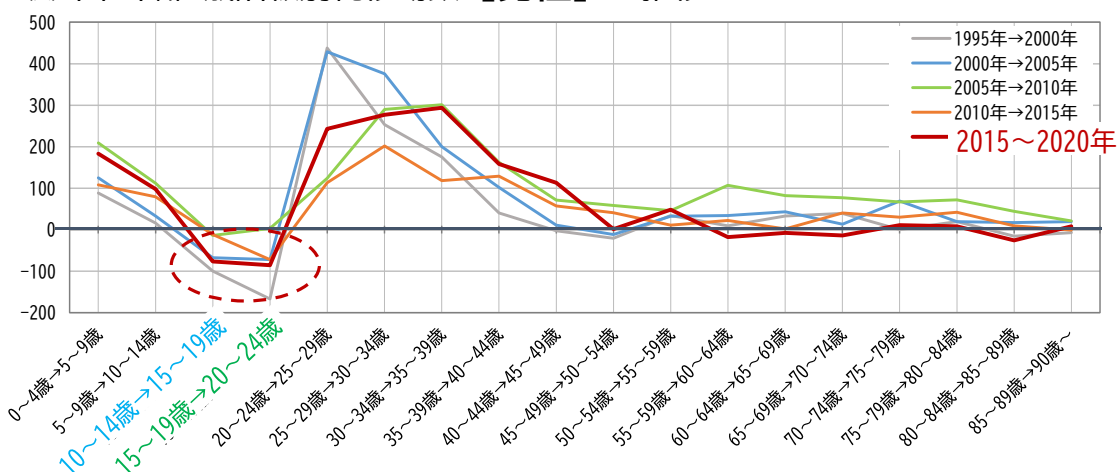
ウ) 純移動数の推移

- 年齢5歳階級別の純移動数をみると、

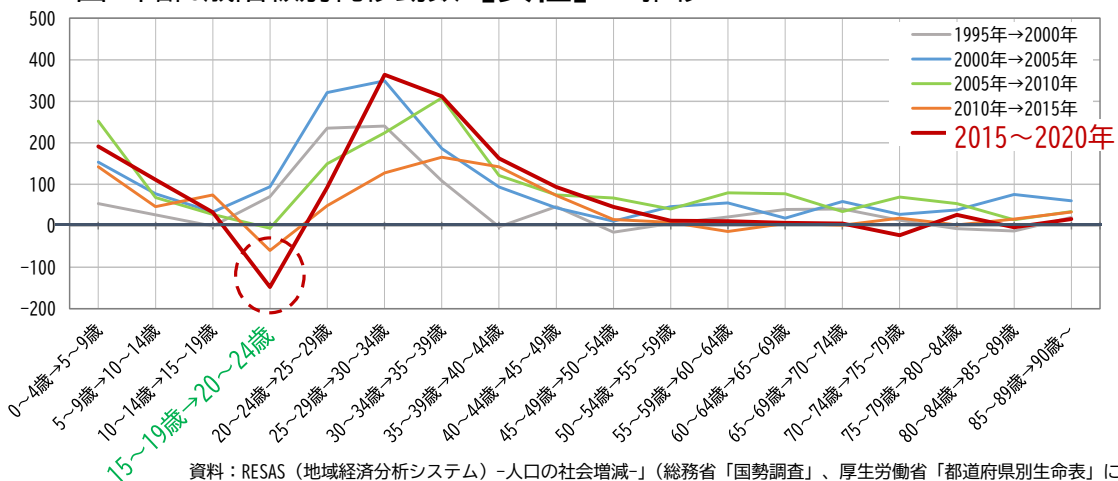
「15～19歳から20～24歳になるとき」の転出超過が拡大。

男性よりも女性の方がその傾向が顕著。

(人) 図 年齢5歳階級別純移動数【男性】の推移



(人) 図 年齢5歳階級別純移動数【女性】の推移



資料：RESAS（地域経済分析システム）-人口の社会増減-（総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づき内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局作成）(<https://www.resas.go.jp/>) を加工して作成

3. 人口の現状分析

■社会増減の要因

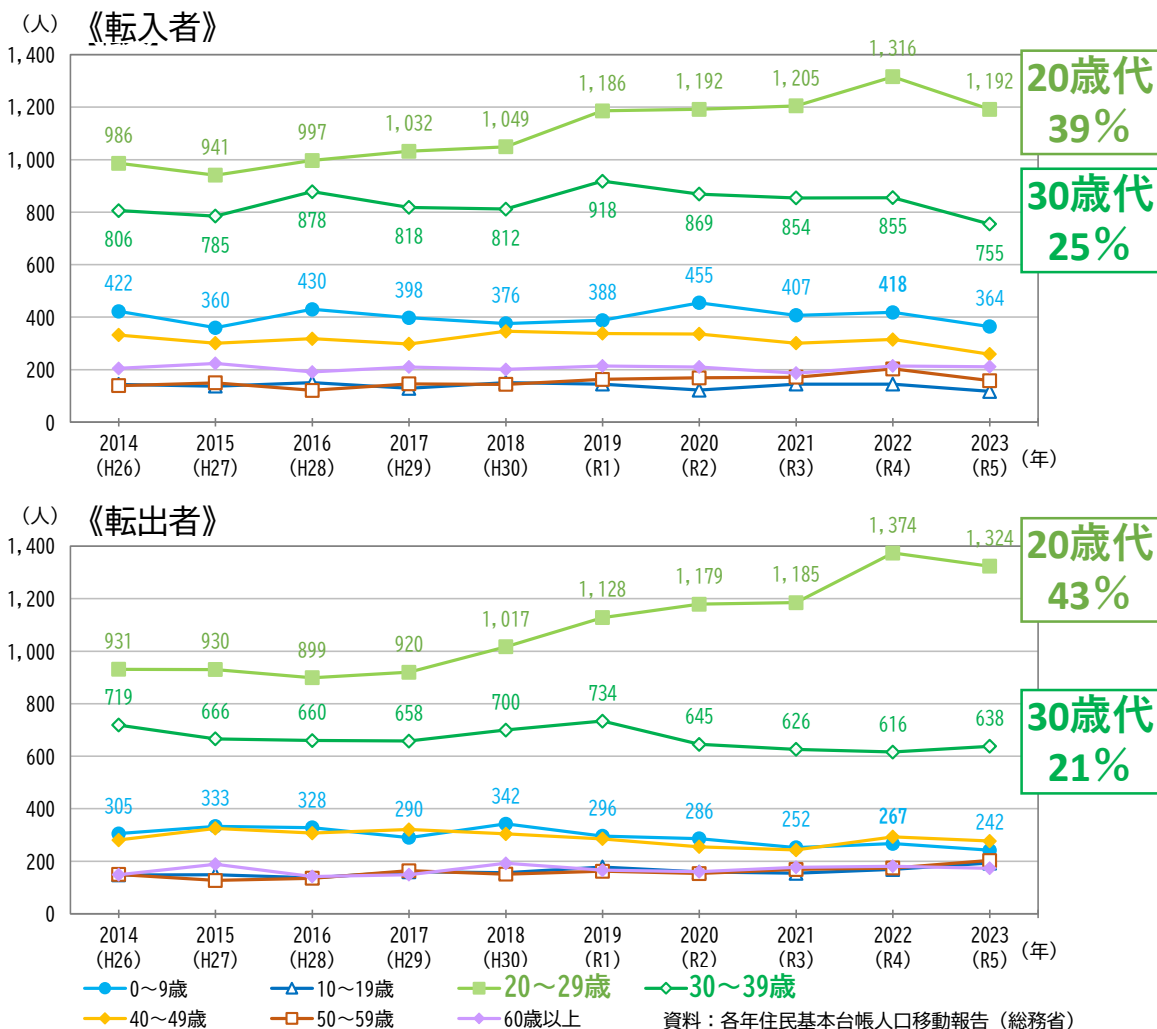
工) 年代別転出入数の推移

- 本市への《転入者》は、**20歳代、30歳代の若い年代の人数が多く**、2023年では20歳代が39%、30歳代が25%を占めている。

《転出者》も**20～30歳代が多い**。

- 入学や就業、住宅取得など、ライフステージのイベントに伴う移動が多いことが推察される。

図 年代別転入数・転出数の推移



4. 将来人口推計

■前提条件

基準年	• 2020（令和2）年
推計期間	• <u>2020（令和2）年を基準年として</u> 2060（令和42）年までの40年間（5年ごとに推計）
基準人口	• 2020（令和2）年9月末時点の 男女、年齢5歳階級別 <u>住民基本台帳人口</u>
対象地域	• 全市及び学区別
推計方法	• コーホート要因法 • 学区別推計は、学区別の推計結果を全市推計で按分 ※学区別推計は今後実施

4. 将来人口推計

■各推計パターンの前提条件

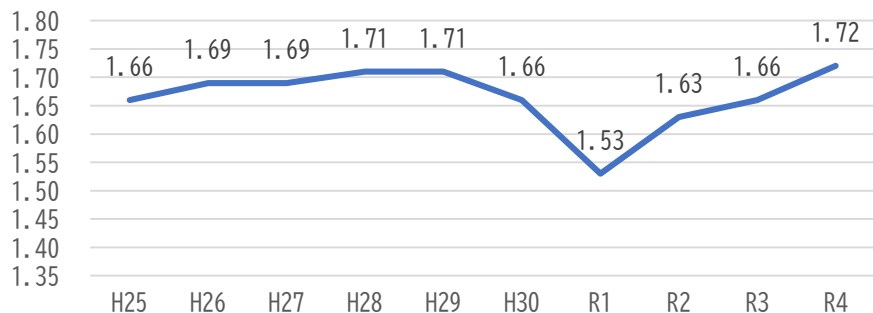
	出生率	移動率	企業誘致
A 高位	社人研推計の 守山市の仮定値	直近5年 (2019→2023年)の 住民基本台帳に基づく 移動率で社人研の守山 市の移動率を補正	企業誘致での雇用増に よる人口増を考慮
B 中位	社人研推計の 守山市の仮定値	社人研推計の 守山市の仮定値	—
C 低位	1.53 (過去10年間の 市の最低値)	直近2年 (2022→2023年)の 住民基本台帳に基づく 移動率で社人研の守山 市の移動率を補正	企業誘致での雇用増に よる人口増を考慮

※前回（令和2年）の人口推計は、社人研推計のみ

4. 将来人口推計

■合計特殊出生率

	想定							
	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計の守山市の仮定値	1.587	1.632	1.675	1.681	1.684	1.693	1.693	1.693

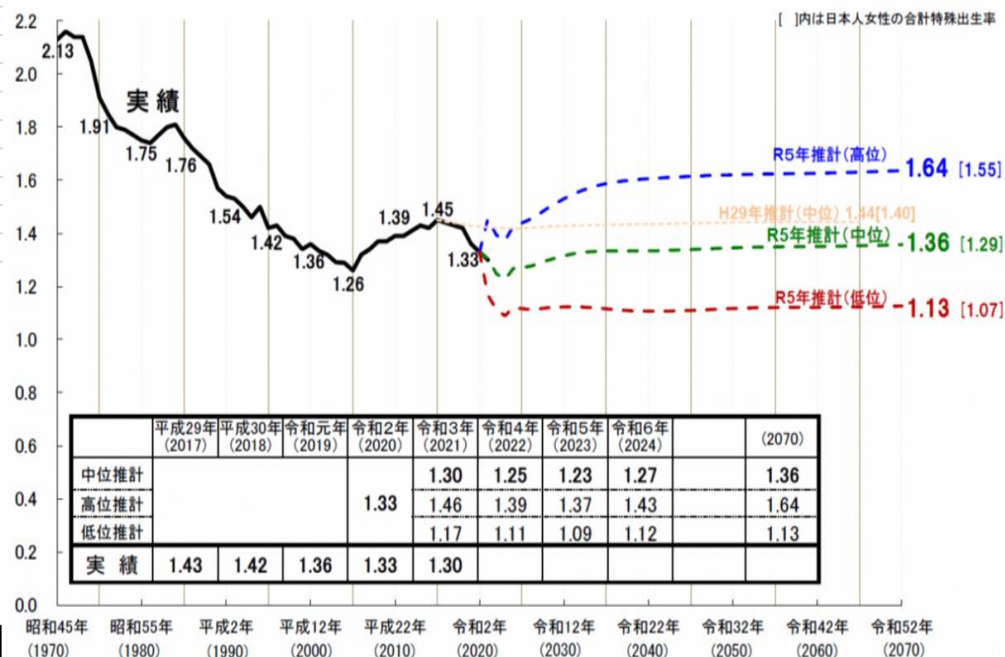


<参考> 本市の合計特殊出生率の推移

➤ 過去5年平均 1.64

➤ 過去10年平均 1.67

※前回の将来展望人口の合計特殊出生率
 2025年：1.8 2035年：1.98
 2040年～：2.07



<参考> 将来推計人口（令和5年度推計）
 ※3回社会保障審議会年金部会資料（2023年5月8日）

4. 将来人口推計

■企業誘致での雇用増による人口増の試算

下記のとおり、新たな企業が操業開始することに伴い、新たに市内へ転入する見込みを試算。試算方法としては、2020年国調による守山市の就業者（製造業、学術研究、専門・技術サービス業）のうち、正規雇用で市内在住者（自宅で就業するものを除く）の割合を乗じ、企業誘致による就業者のうち市内に転入する就業者を算出。

【試算】

企業名等	従業員数（想定）	操業開始（予定）
村田製作所	1,000人～1,600人	2026年5月～
横江工業団地	1,000人	2027年10月～
笠原工業団地	1,000人	2029年～
合計	3,000人～3,600人	

3,000人増→市内に転入する従業員 615人①

※従業員の転入には世帯を伴うことから、①に住民基本台帳による1世帯あたり人員（2030年推計値：2.29）を乗じて転入者数を算出

615人×2.29 ÷ 1,405人が転入

<参考> 2020年国勢調査における市内就業者数割合

	製造業		学術研究、専門・技術サービス業	
	全雇用者	うち 正規雇用者	全雇用者	うち 正規雇用者
①守山市で就業する者	7,624	5,118	814	350
②①うち守山市に常住する者	3,530	2,075	466	106
②うち守山市に常住し自宅以外で就業するもの	3,197	1,940	248	86

資料：令和2年国勢調査

市内就業者のうち市内に常住する者（自宅で就業する者を除く）の割合

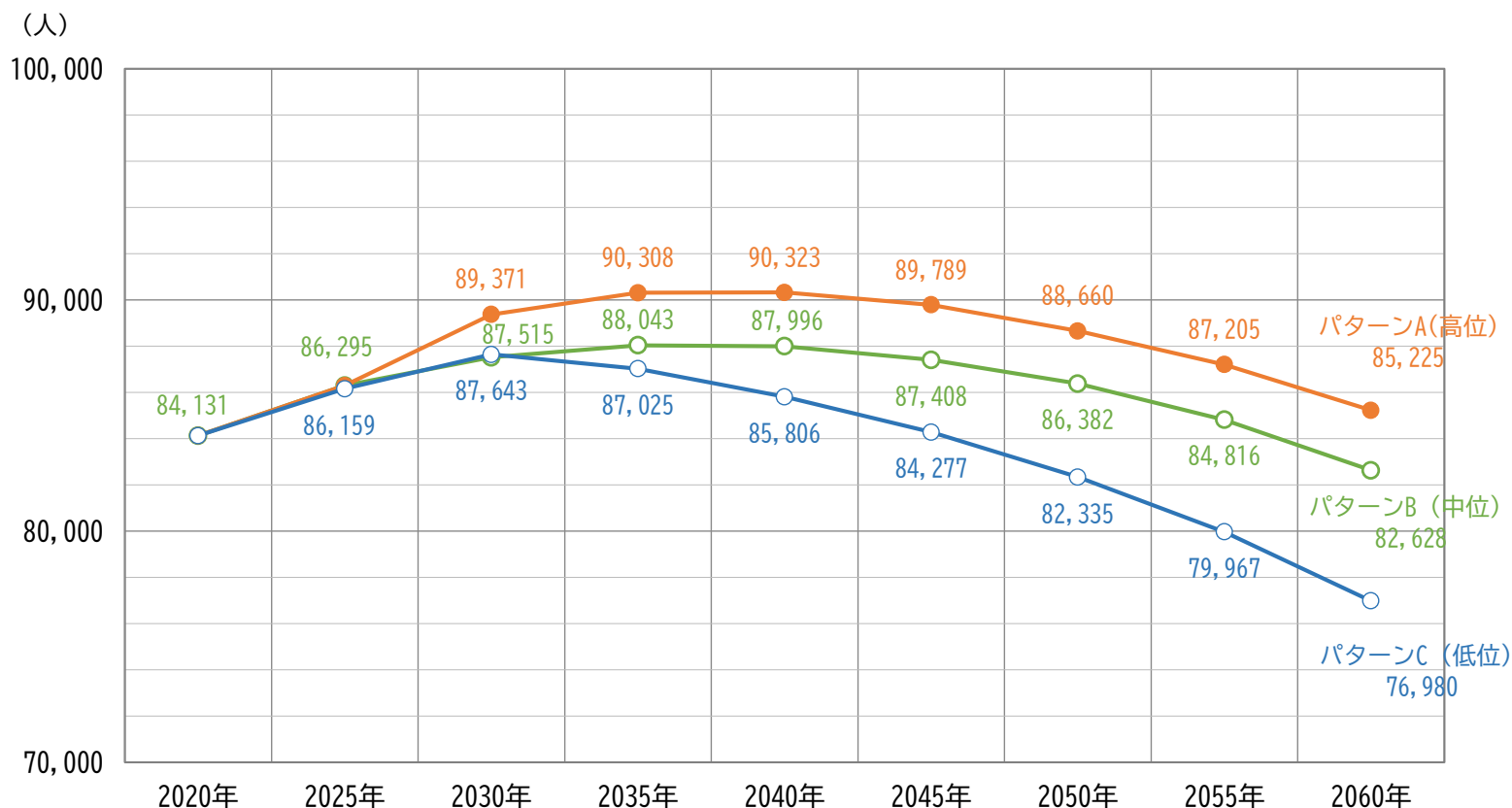
25.4%

10.6%

4. 将来人口推計

■推計結果（全市）

将来人口のピークは、高位：2040年：90,323人、中位：2035年：88,043人、低位：2030年：87,643人で以降は減少を迎える。



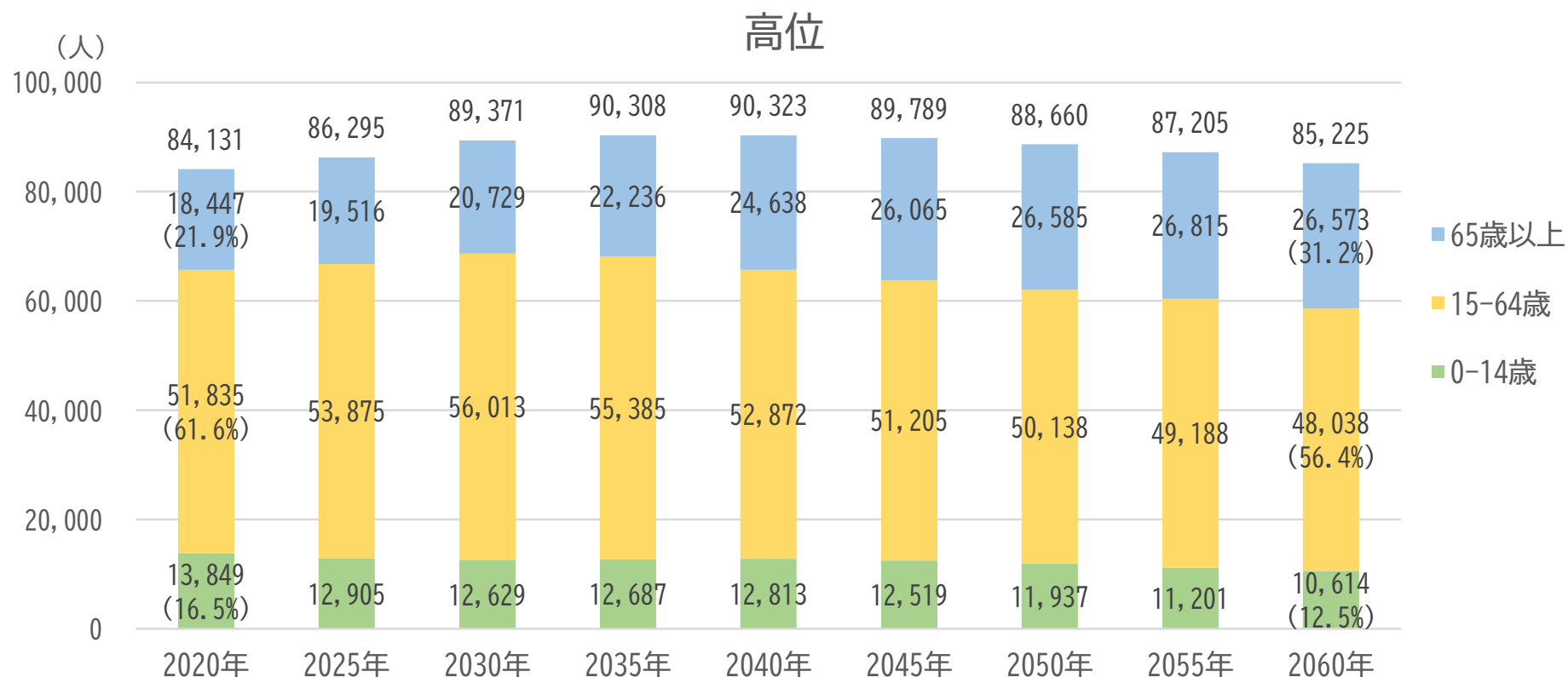
4. 将来人口推計

推計パターン		実績値 2020年	推計結果							
			2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
A 高位 出生率：社人研準拠 移動率：直近5年＋企業誘致		84,131	86,295	89,371	90,308	90,323	89,789	88,660	87,205	85,225
	B 中位 出生率・移動率社人研準拠	84,131	86,295	87,515	88,043	87,996	87,408	86,382	84,816	82,628
	C 低位 出生率：1.53（過去10年間の最低値） 移動率：直近2年＋企業誘致	84,131	86,159	87,643	87,025	85,806	84,277	82,335	79,967	76,980
前回人口ビジョン	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
将来人口推計	79,859	82,534	84,273	85,161	85,342	84,918	84,157	83,227	81,865	80,003
展望人口	81,094	83,746	85,139	86,268	87,211	87,981	87,997	87,906	87,410	86,469

- 長期ビジョンでの目指す将来の展望人口については、今後のビジョンの取り組み等を加味するなかで設定

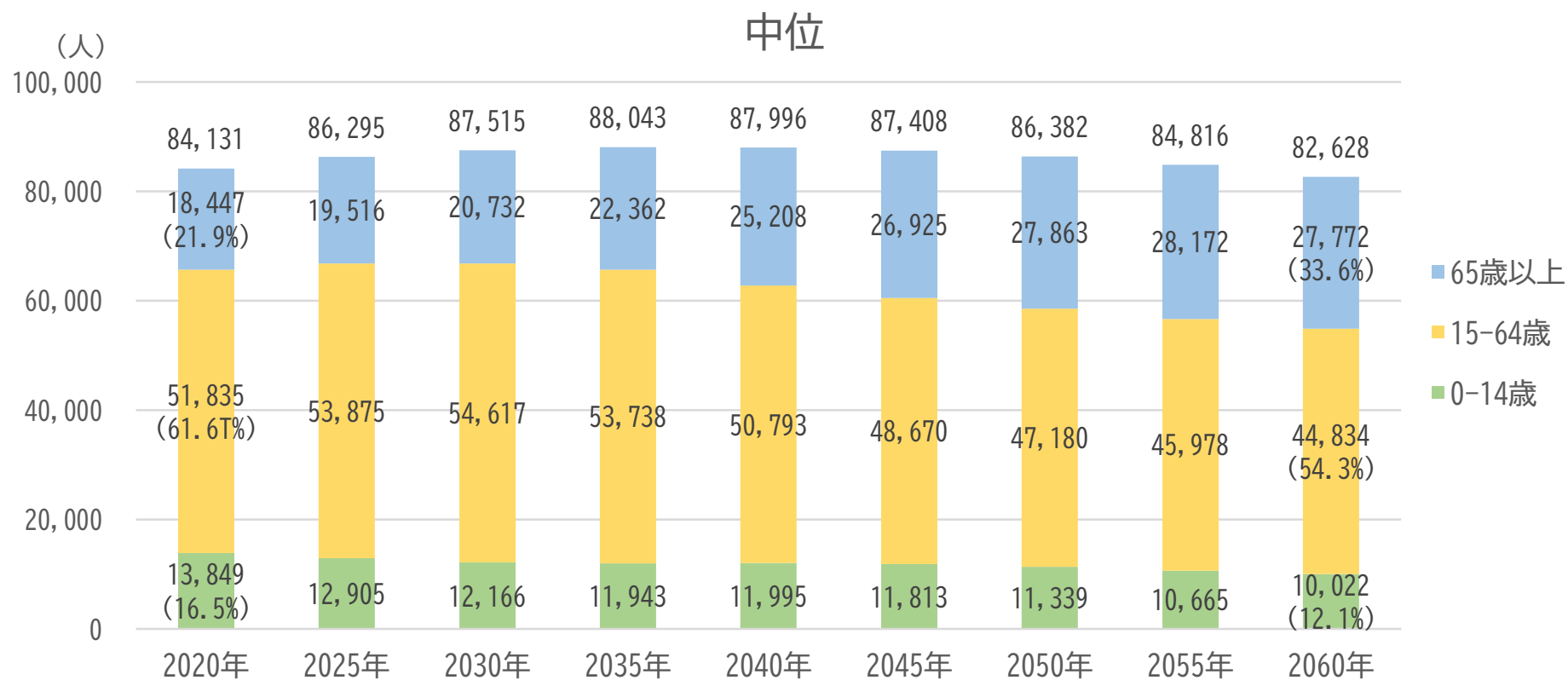
4. 将来人口推計

■推計結果（高位 全市・年齢3階級別）



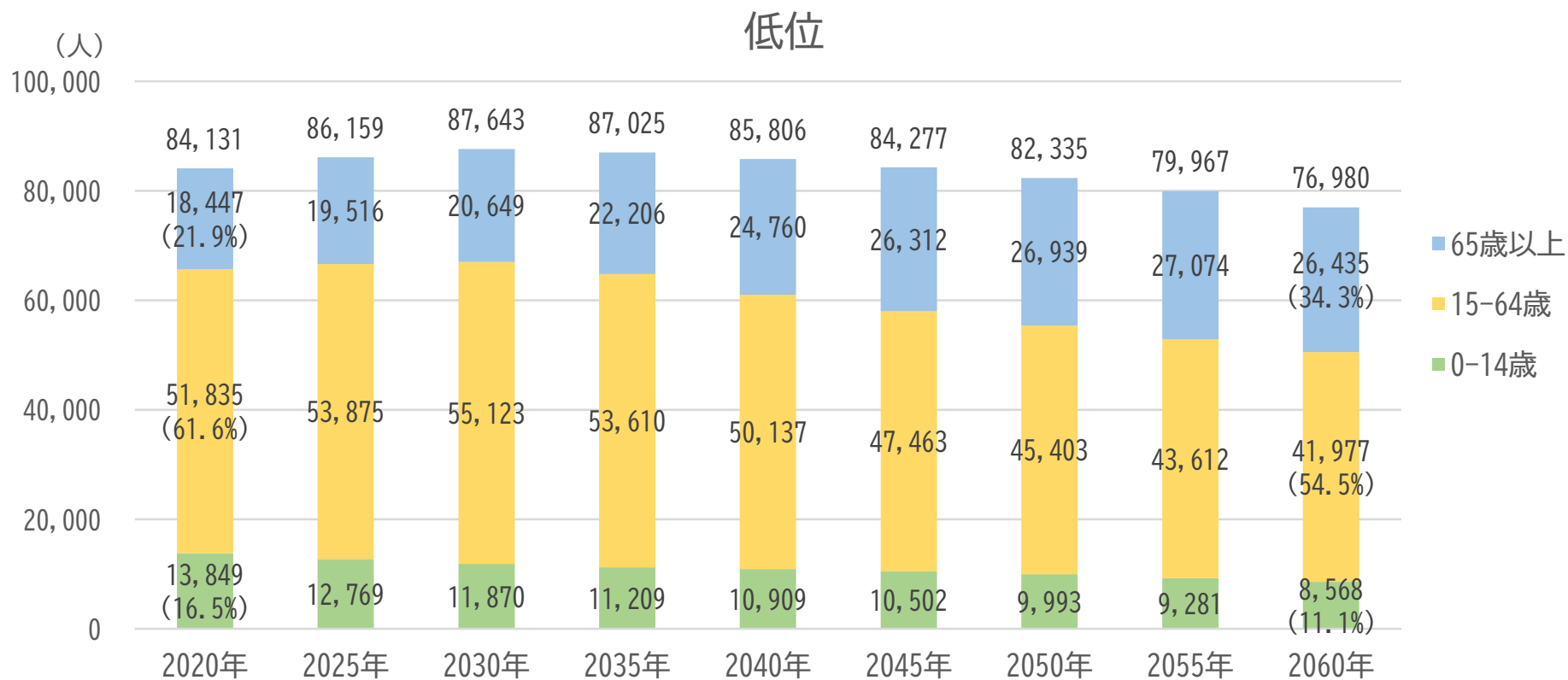
4. 将来人口推計

■推計結果（中位 全市・年齢3階級別）



4. 将来人口推計

■推計結果（低位 全市・年齢3階級別）



5. 市民アンケート

(1) 住民アンケート

(1) 住民アンケート

①調査の概要

目 的	市民の将来のまちづくりへの思いやまちづくりへの期待等把握し、長期ビジョン（第6次総合計画）策定の基礎資料とする
対 象	市内在住の15歳以上の方2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
調査方法	郵送配布、回収は郵送またはWEB
回収状況	回答数 587人 （WEB251人、郵送等336人） 前回：553人 ※WEB回答はQUOカードPAY100円進呈 回収率 29.4% （前回：27.7%）※8/19到着分までの暫定値
調査期間	7月26日（発送）～8月13日（締切）

②主な調査項目

- ・ 守山市の住みやすさ（居住学区、住居形態、居住年数、居住地として選んだ理由、守山市への愛着度、住みよさ評価、定住意向とその理由）
- ・ 守山市のまちづくりの取組み（取組みに対する実感、今後力を入れてほしい施策）
- ・ 将来のまちづくり（良いところ、良くないところ、10年後の理想の姿）

5. 市民アンケート

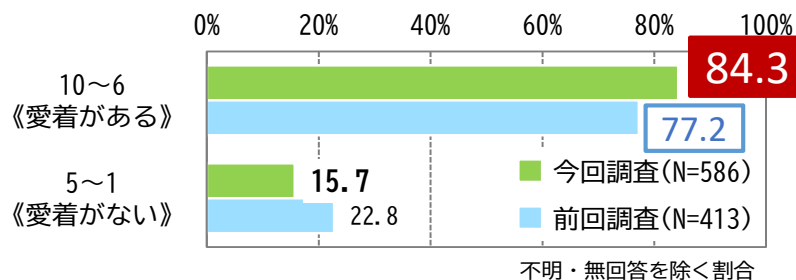
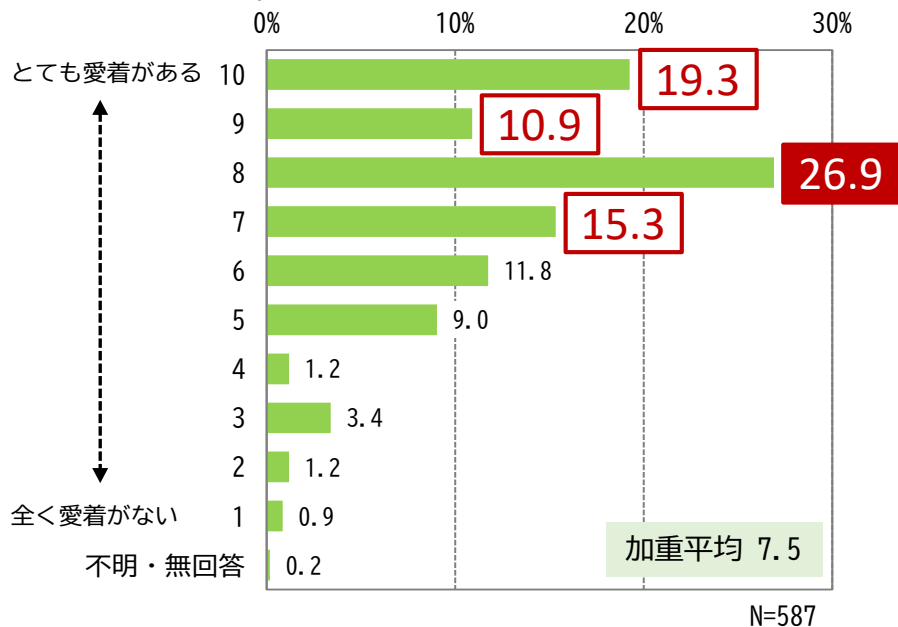
(1) ③住民アンケート結果概要

(1) 住民アンケート（速報値）

■守山市への愛着度（10段階）

- 愛着度は「**8**」以上が6割弱

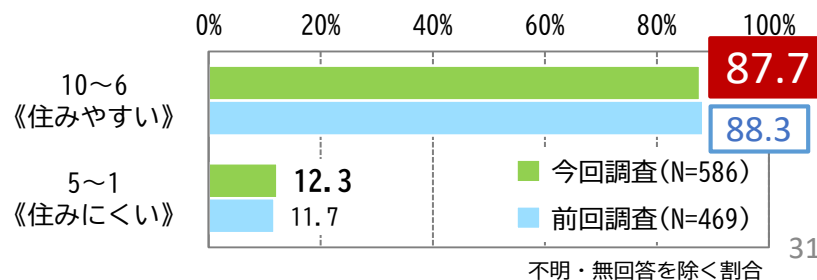
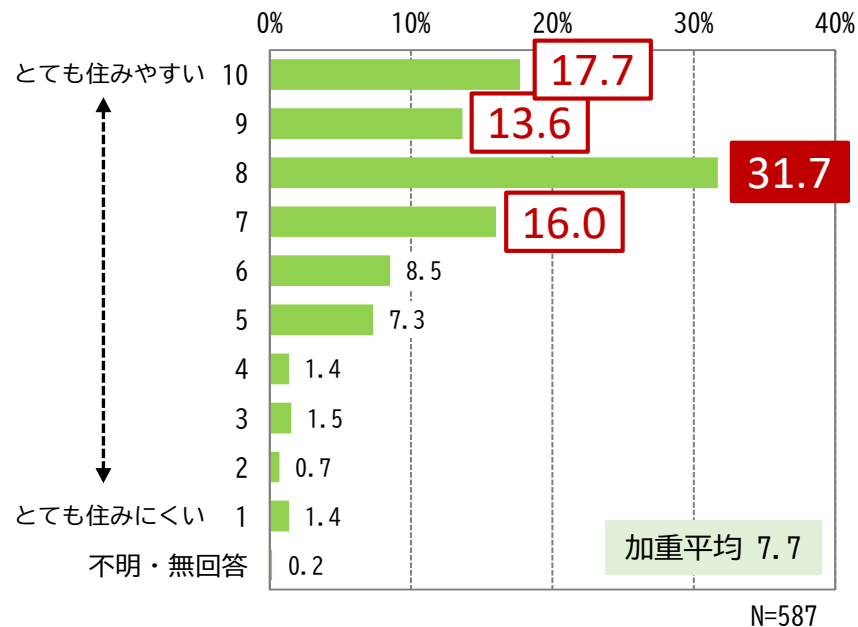
図 守山市への愛着度



■守山市の住みやすさ（10段階）

- 住みやすさは「**8**」以上が6割強

図 守山市の住みやすさ



5. 市民アンケート

(1) ③住民アンケート結果概要

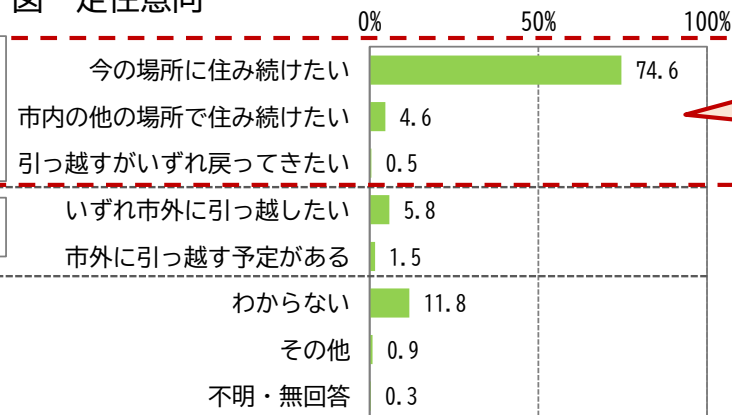
■守山市を居住地として選んだ理由

- 守山市に住んでいる理由は、
「生まれ育った場所だから」が35.9%で最も多く、以下、「持ち家があるから」が27.8%、「職場に近い・仕事の都合」が26.6%

■定住意向

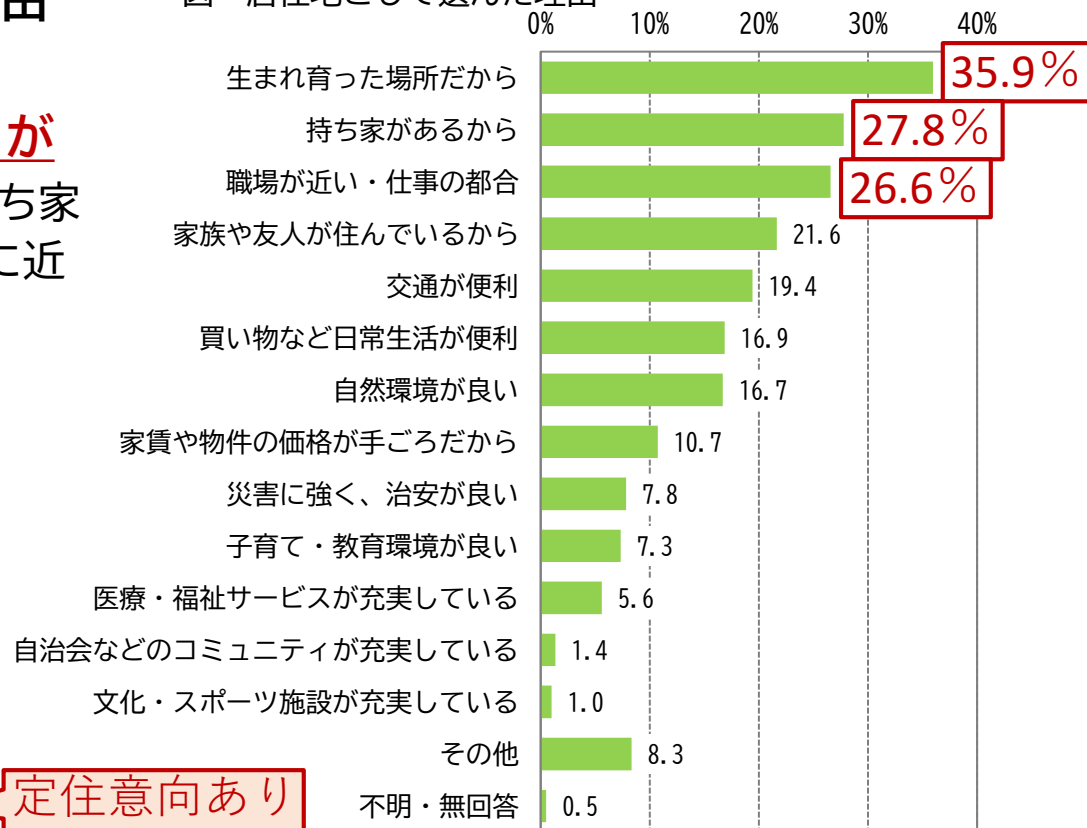
- 「今の場所に住み続けたい」が74.6%を占め、
79.7%が『定住意向』あり

図 定住意向

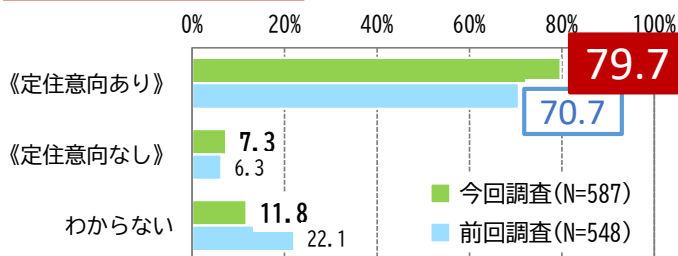


**定住意向あり
79.7%**

図 居住地として選んだ理由



N=587 (3つ以内で複数回答)



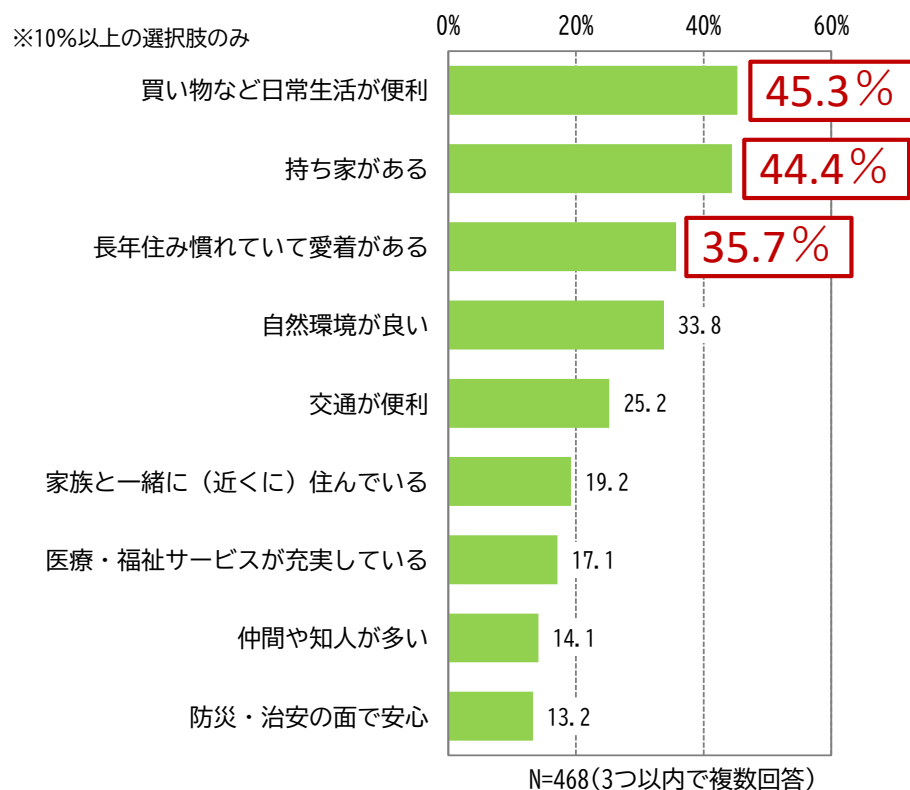
5. 市民アンケート

(1) ③住民アンケート結果概要

■定住したい理由

- ・ 「買い物など日常生活が便利」が45.3%で最も多く、以下、「持ち家がある」が44.4%、「長年住み慣れていて愛着がある」が35.7%

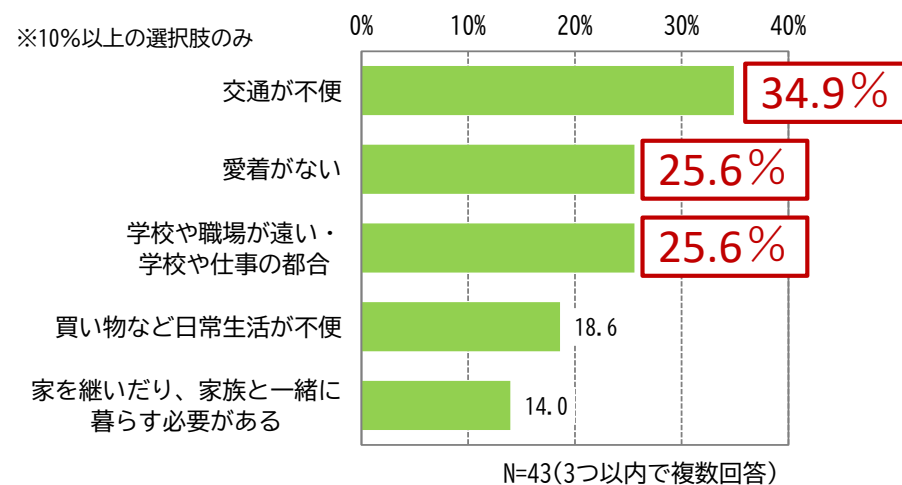
図 定住したい理由



■定住したくない理由

- ・ 「交通が不便」が34.9%で最も多く、次いで、「愛着がない」と「学校や職場が遠い・学校や仕事の都合」が同率で25.6%

図 定住したくない理由



5. 市民アンケート

(1) ③住民アンケート結果概要

■まちづくりの取組みの評価

- 加重平均（4.00～1.00）が高い項目は、

「②医療体制」（3.30）

「①健康的な日常生活」（3.29）

「②⑩治安」（2.94）

- 一方、低い項目は、

「①⑥起業環境」（2.07）

「②③地域公共交通」（2.10）

「②⑤デジタル化」（2.10）

- 加重平均**2.50以上**は、
25項目中**17項目**

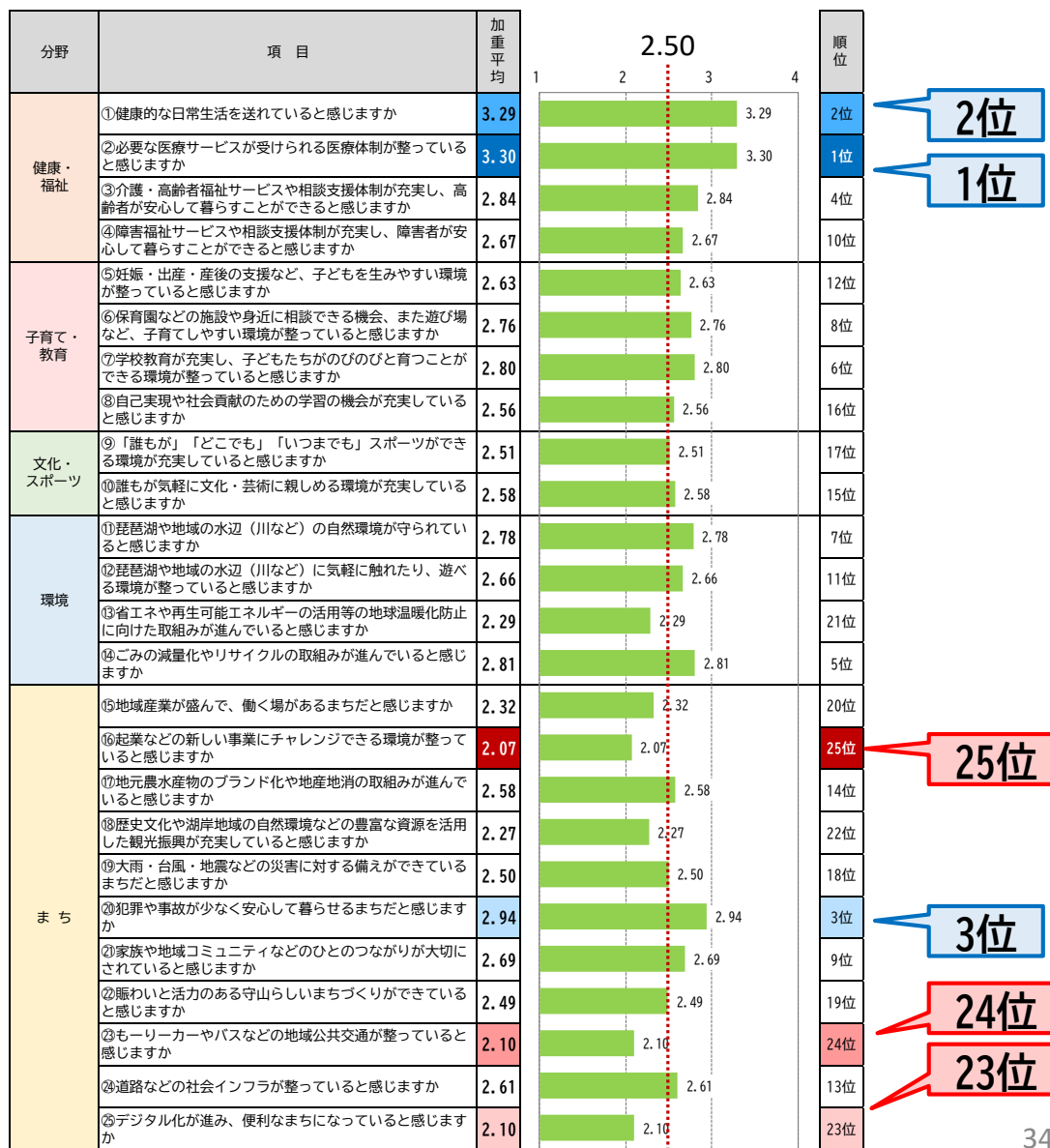


図 まちづくりの取組みの評価（加重平均）

*加重平均＝（「感じる」×4＋「やや感じる」×3＋「やや感じない」×2＋「感じない」×1）／（「わからない」と不明・無回答を除く件数）

5. 市民アンケート

(1) ③住民アンケート結果概要

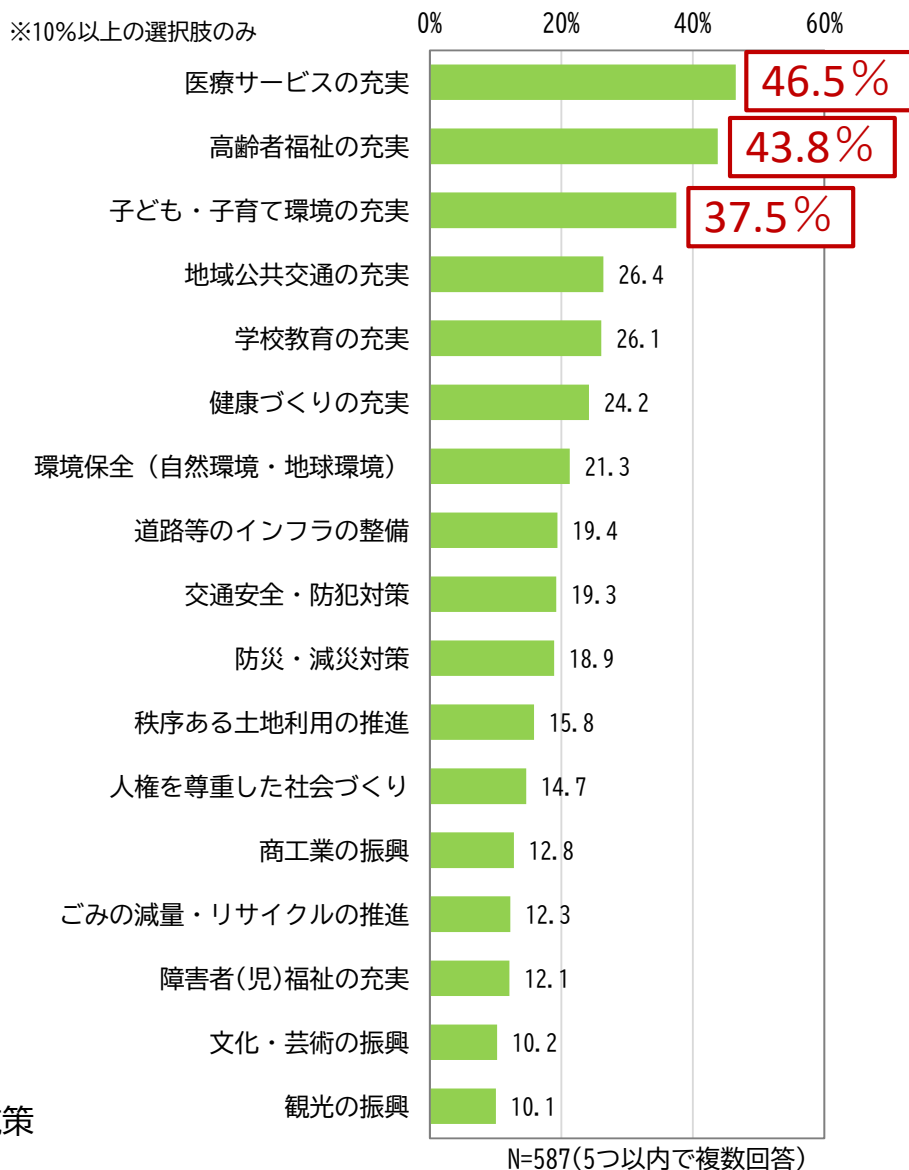
■今後、力を入れてほしい施策

- ・ 「医療サービスの充実」が **46.5%**で最も多く、
以下、
「高齢者福祉の充実」が43.8%、
「子ども・子育て環境の充実」が37.5%
- ・ 医療、高齢者、子育てに関する施策が上位を占めている

	今回調査	前回調査
1位	医療サービス	医療
2位	高齢者福祉	学校教育
3位	子ども・子育て環境	交通安全・防犯
4位	地域公共交通	保険・年金
5位	学校教育	高齢者福祉

※前回調査は43項目から5つ選択

図 今後、力を入れてほしい施策



5. 市民アンケート

(2) 中学生アンケート

(2) 中学生アンケート

①調査の概要

目 的	市民の将来のまちづくりへの思いやまちづくりへの期待等把握し、長期ビジョン（第6次総合計画）策定の基礎資料とする
対 象	市立中学校4校に通学する中学1年生928人
調査方法	WEB配布・回収
回収状況	747人（有効回収率：80.5%）
調査期間	7月17日（開始）～8月5日（締切）

②主な調査項目

- ・ 守山市の住みやすさについて
- ・ 自慢したいところや悪いところについて
- ・ 目指すまちの姿について

5. 市民アンケート

(2) ③中学生アンケート結果概要

(2) 中学生アンケート（速報値）

■守山市の住みやすさ

- 守山市を好きな度合いは、『好き』が69.5%、『嫌い』は4.8%
- 定住意向は「住み続けたい」が30.3%と最も多く、次いで「進学や就職で引っ越すかもしれないが、いつか戻ってきたい」が28.4%

図 守山市の好きな度合い

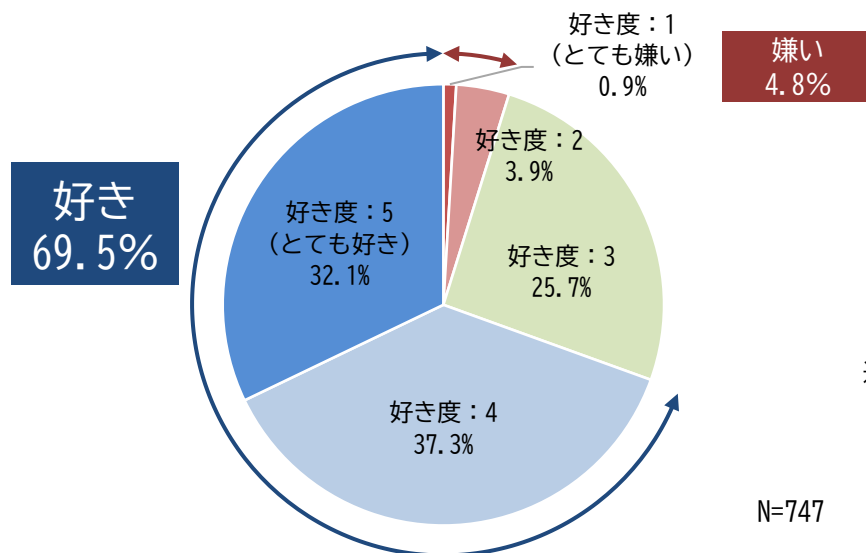
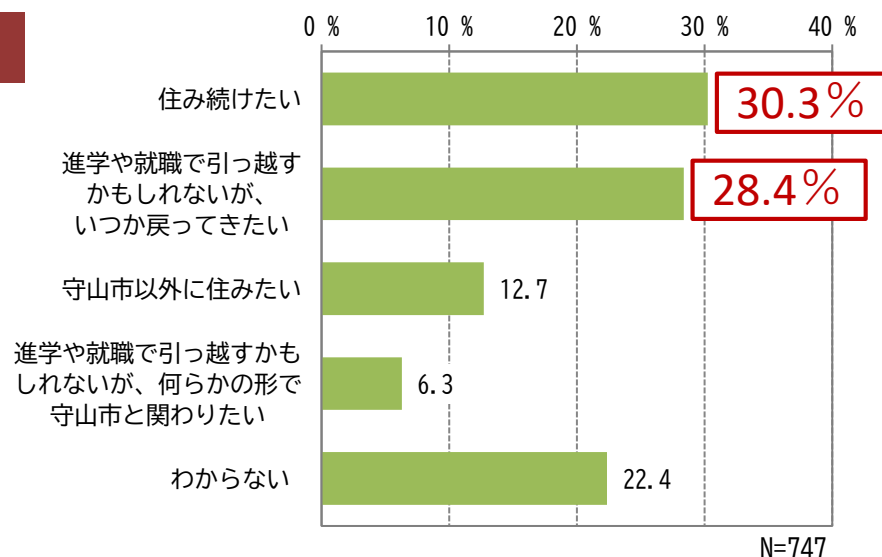


図 守山市での定住意向



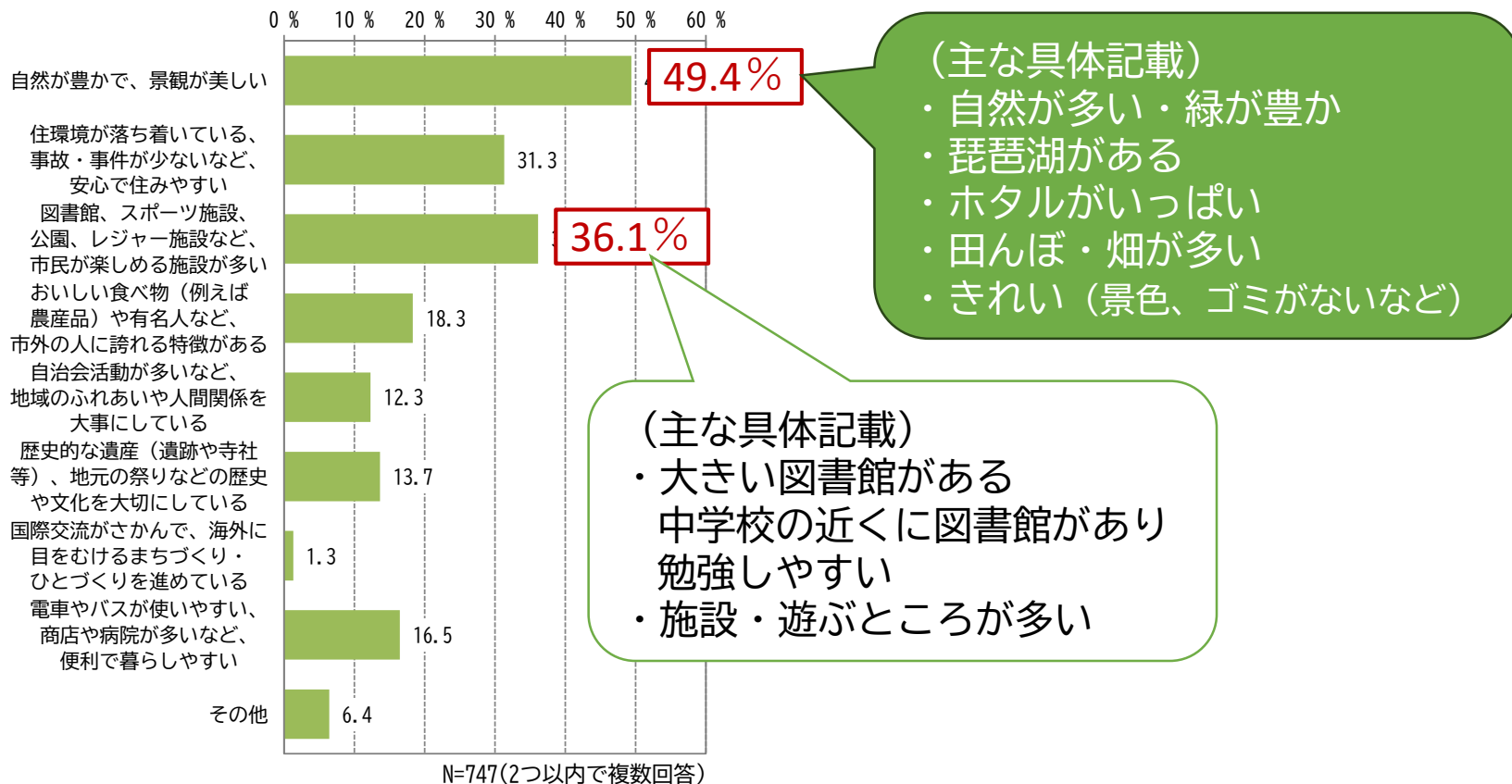
5. 市民アンケート

(2) ③中学生アンケート結果概要

■自慢したいところ

- ・「**自然が豊かで、景観が美しい**」が**49.4%**と最も多く、次いで「図書館、スポーツ施設、公園、レジャー施設など、市民が楽しめる施設が多い」が36.1%。
- ・「自然が豊かで、景観が美しい」では、**琵琶湖、ホテル、田んぼ**などのキーワードがあった。

図 守山市で自慢したいところ



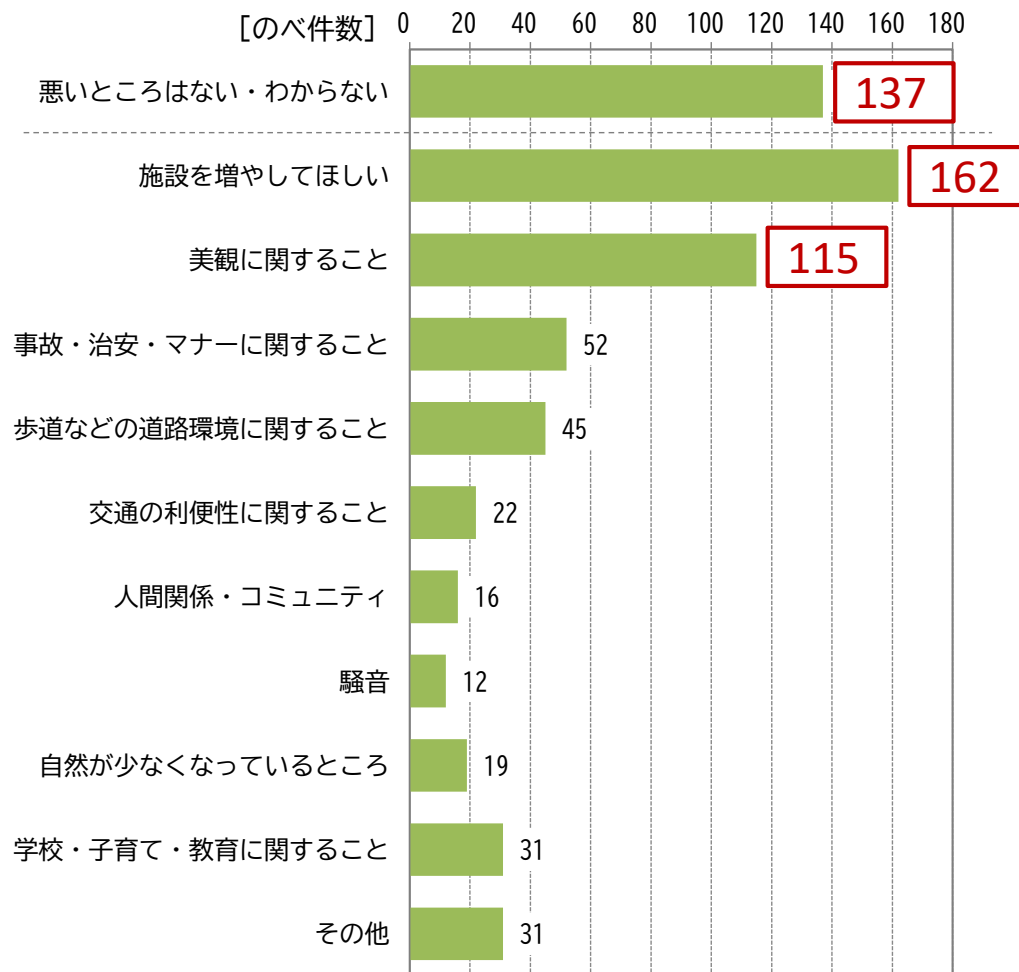
5. 市民アンケート

(2) ③中学生アンケート結果概要

■悪いところ・良くなってほしいところ

図 悪いところ・良くなってほしいところ（自由記述）

- ・ 「悪いところはない・わからない」が137件であった。
- ・ 体育館や公園、ショッピングモール、遊ぶところなどの 「施設を増やしてほしい」に関する意見が162件であった。
- ・ 琵琶湖が汚れていることや、公共施設が汚い、ポイ捨てなどの 「美観に関すること」が115件あった。



N=640(文章中でキーワードが複数ある場合はそれぞれカウント)

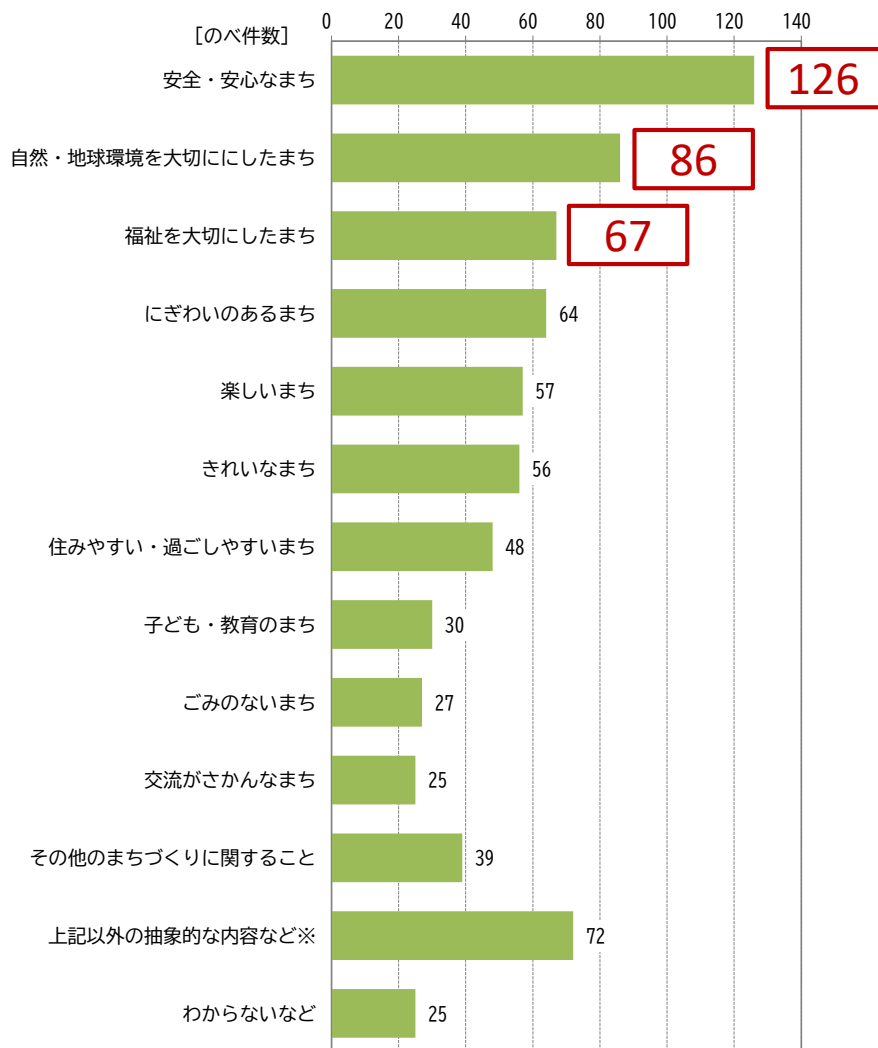
5. 市民アンケート

(2) ③中学生アンケート結果概要

■目指すまちの姿

- 「安心・安全」についての回答が最も多く、「安全で、みんなが仲良く、他の街に誇れるものがある街」や「守山市のみんなが安心して暮らせて楽しい街にしたい」があった。
- 「自然・地球環境」が次いで多く、「ゴミのない自然豊かないいまち」や「自然が豊かで空気がきれいで助け合いしているようなまち」という回答があった。
- 「福祉を大切にしたいまち」には、「優しいまち」「平和なまち」などの回答があった。

図 守山市長になったら、どのようなまちにしていきたいか（自由記述）



N=673(文章中でキーワードが複数ある場合はそれぞれカウント)

※笑顔、なかよしなどのまちづくり全般に関すること

6. ワークショップ

①概要

【目的】 市民目線で10年後の守山市の姿を考え、長期ビジョンの将来像や分野別の方向性の検討材料とする。

抽出
無作為
市民

前期WS
第1回(9/29)
第2回(10/6)

<まちへの思いを幅広く抽出する>

- 守山市ってどんなまち（現状把握）
- 10年後の守山市のイメージ



後期WS
第3回(11月)

<まちづくり分野別に課題を掘り下げる>

- 分野ごとのありたい姿（課題、方向性）



参加者
宿題

<まちづくりで大切にしたいこと>

- 分野を超えて市全体で大切にしたいまちづくりの視点や言葉



後期WS
第4回(1月)

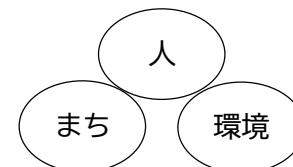
<守山市が目指す方向を考える>

- 守山市の「あるべき姿」
・まちづくりの視点、そこに込める言葉や思いをまとめる

一般公募市民＋前期WS参加者

長期ビジョン2035
(構成・内容は例示)

将来の都市像



目指す将来像に
向けた 施策

- ・戦略目標・施策の方向性

土地利用方針
人口ビジョン
取り巻く環境の変化。課題

